



2025年度後学期
静岡大学市民開放授業

募集要項・授業内容（シラバス）

Contents

後学期スケジュール	2
1 市民開放授業の概要	3
市民開放授業とは 実施形態	
2 受講までの流れ	5
Step1 「募集要項・授業内容（シラバス）」を手に入れる	
Step2 受講したい授業を決める	
Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する	
Step4 必要書類を提出する	
Step5 受講料を納入する	
Step6 受講証の確認、学務情報システムの利用申請をする 受付・お問い合わせ先	
3 受講に際して	7
情報ネットワーク（学務情報システム・無線LAN）	
大学からの連絡（休講・教室変更・補講）	
通学方法	
学生生活	
その他	
4 よくある質問Q&A	11
受講手続きについて	
受講料について	
授業について	
その他	
5 図書館の利用について	13
資料案内	
開館時間	
休館日	
利用にあたって	
サービス内容	
お問い合わせ先	
6 キャンパス案内図	16
静岡キャンパス	
浜松キャンパス	
7 市民開放授業科目一覧	18
表の見方	
シラバスの見方	
科目一覧	
シラバス一覧	
払込取扱票記入例	60
受講連絡票	61
受講申込書	63
注意事項	64

2025年度 後学期 スケジュール

2025年				2026年					
10月		11月		12月		1月		2月	
曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日
	水1	土1	月1	月1	木1	日1	日1	日1	日1
	木2	日2	火2	火2	金2	月2	月2	月2	月2
	金3	月3	水3	水3	木3	木3	木3	木3	木3
	土4	火4	木4	木4	金4	金4	金4	金4	金4
	日5	水5	金5	金5	土5	土5	土5	土5	土5
	月6	木6	土6	土6	日6	日6	日6	日6	日6
	火7	金7	月7	月7	月7	月7	月7	月7	月7
	水8	火8	火8	火8	火8	火8	火8	火8	火8
	木9	土8	土8	土8	土8	土8	土8	土8	土8
	金10	日9	日9	日9	日9	日9	日9	日9	日9
	土11	月10	月10	月10	月10	月10	月10	月10	月10
	日12	火11	火11	火11	火11	火11	火11	火11	火11
	月13	水12	水12	水12	水12	水12	水12	水12	水12
	火14	木13	木13	木13	木13	木13	木13	木13	木13
	水15	金14	金14	金14	金14	金14	金14	金14	金14
	木16	土15	土15	土15	土15	土15	土15	土15	土15
	金17	日16	日16	日16	日16	日16	日16	日16	日16
	土18	月17	月17	月17	月17	月17	月17	月17	月17
	日19	火18	火18	火18	火18	火18	火18	火18	火18
	月20	水19	水19	水19	水19	水19	水19	水19	水19
	火21	木20	木20	木20	木20	木20	木20	木20	木20
	水22	金21	金21	金21	金21	金21	金21	金21	金21
	木23	土22	土22	土22	土22	土22	土22	土22	土22
	金24	日23	日23	日23	日23	日23	日23	日23	日23
	土25	月24	月24	月24	月24	月24	月24	月24	月24
	日26	火25	火25	火25	火25	火25	火25	火25	火25
	月27	水26	水26	水26	水26	水26	水26	水26	水26
	火28	木27	木27	木27	木27	木27	木27	木27	木27
	水29	金28	金28	金28	金28	金28	金28	金28	金28
	木30	土29	土29	土29	土29	土29	土29	土29	土29
	金31	日30	日30	日30	日30	日30	日30	日30	日30
		月31	月31	月31	月31	月31	月31	月31	月31
		火1	火1	火1	火1	火1	火1	火1	火1
		水2	水2	水2	水2	水2	水2	水2	水2
		木3	木3	木3	木3	木3	木3	木3	木3
		金4	金4	金4	金4	金4	金4	金4	金4
		土5	土5	土5	土5	土5	土5	土5	土5
		日6	日6	日6	日6	日6	日6	日6	日6
		月7	月7	月7	月7	月7	月7	月7	月7
		火8	火8	火8	火8	火8	火8	火8	火8
		水9	水9	水9	水9	水9	水9	水9	水9
		木10	木10	木10	木10	木10	木10	木10	木10
		金11	金11	金11	金11	金11	金11	金11	金11
		土12	土12	土12	土12	土12	土12	土12	土12
		日13	日13	日13	日13	日13	日13	日13	日13
		月14	月14	月14	月14	月14	月14	月14	月14
		火15	火15	火15	火15	火15	火15	火15	火15
		水16	水16	水16	水16	水16	水16	水16	水16
		木17	木17	木17	木17	木17	木17	木17	木17
		金18	金18	金18	金18	金18	金18	金18	金18
		土19	土19	土19	土19	土19	土19	土19	土19
		日20	日20	日20	日20	日20	日20	日20	日20
		月21	月21	月21	月21	月21	月21	月21	月21
		火22	火22	火22	火22	火22	火22	火22	火22
		水23	水23	水23	水23	水23	水23	水23	水23
		木24	木24	木24	木24	木24	木24	木24	木24
		金25	金25	金25	金25	金25	金25	金25	金25
		土26	土26	土26	土26	土26	土26	土26	土26
		日27	日27	日27	日27	日27	日27	日27	日27
		月28	月28	月28	月28	月28	月28	月28	月28
		火29	火29	火29	火29	火29	火29	火29	火29
		水30	水30	水30	水30	水30	水30	水30	水30
		木31	木31	木31	木31	木31	木31	木31	木31
		金1	金1	金1	金1	金1	金1	金1	金1
		土2	土2	土2	土2	土2	土2	土2	土2
		日3	日3	日3	日3	日3	日3	日3	日3
		月4	月4	月4	月4	月4	月4	月4	月4
		火5	火5	火5	火5	火5	火5	火5	火5
		水6	水6	水6	水6	水6	水6	水6	水6
		木7	木7	木7	木7	木7	木7	木7	木7
		金8	金8	金8	金8	金8	金8	金8	金8
		土9	土9	土9	土9	土9	土9	土9	土9
		日10	日10	日10	日10	日10	日10	日10	日10
		月11	月11	月11	月11	月11	月11	月11	月11
		火12	火12	火12	火12	火12	火12	火12	火12
		水13	水13	水13	水13	水13	水13	水13	水13
		木14	木14	木14	木14	木14	木14	木14	木14
		金15	金15	金15	金15	金15	金15	金15	金15
		土16	土16	土16	土16	土16	土16	土16	土16
		日17	日17	日17	日17	日17	日17	日17	日17
		月18	月18	月18	月18	月18	月18	月18	月18
		火19	火19	火19	火19	火19	火19	火19	火19
		水20	水20	水20	水20	水20	水20	水20	水20
		木21	木21	木21	木21	木21	木21	木21	木21
		金22	金22	金22	金22	金22	金22	金22	金22
		土23	土23	土23	土23	土23	土23	土23	土23
		日24	日24	日24	日24	日24	日24	日24	日24
		月25	月25	月25	月25	月25	月25	月25	月25
		火26	火26	火26	火26	火26	火26	火26	火26
		水27	水27	水27	水27	水27	水27	水27	水27
		木28	木28	木28	木28	木28	木28	木28	木28
		金29	金29	金29	金29	金29	金29	金29	金29
		土30	土30	土30	土30	土30	土30	土30	土30
		日31	日31	日31	日31	日31	日31	日31	日31
		月1	月1	月1	月1	月1	月1	月1	月1
		火2	火2	火2	火2	火2	火2	火2	火2
		水3	水3	水3	水3	水3	水3	水3	水3
		木4	木4	木4	木4	木4	木4	木4	木4
		金5	金5	金5	金5	金5	金5	金5	金5
		土6	土6	土6	土6	土6	土6	土6	土6
		日7	日7	日7	日7	日7	日7	日7	日7
		月8	月8	月8	月8	月8	月8	月8	月8
		火9	火9	火9	火9	火9	火9	火9	火9
		水10	水10	水10	水10	水10	水10	水10	水10
		木11	木11	木11	木11	木11	木11	木11	木11
		金12	金12	金12	金12	金12	金12	金12	金12
		土13	土13	土13	土13	土13	土13	土13	土13
		日14	日14	日14	日14	日14	日14	日14	日14
		月15	月15	月15	月15	月15	月15	月15	月15
		火16	火16	火16	火16	火16	火16	火16	火16
		水17	水17	水17	水17	水17	水17	水17	水17
		木18	木18	木18	木18	木18	木18	木18	木18
		金19	金19	金19	金19	金19	金19	金19	金19
		土20	土20	土20	土20	土20	土20	土20	土20
		日21	日21	日21	日21	日21	日21	日21	日21
		月22	月22	月22	月22	月22	月22	月22	月22
		火23	火23	火23	火23	火23	火23	火23	火23
		水24	水24	水24	水24	水24	水24	水24	水24
		木25	木25	木25	木25	木25	木25	木25	木25
		金26	金26	金26	金26	金26	金26	金26	金26
		土27	土27	土27	土27	土27	土27	土27	土27
		日28	日28	日28	日28	日28	日28	日28	日28
		月29	月29	月29	月29	月29	月29	月29	月29
		火30	火30	火30	火30	火30	火30	火30	火30
		水31	水31	水31	水31	水31	水31	水31	水31
		木1	木1	木1	木1	木1	木1	木1	木1
		金2	金2	金2	金2	金2	金2	金2	金2
		土3	土3	土3	土3	土3	土3	土3	土3
		日4	日4	日4	日4	日4	日4	日4	日4
		月5	月5	月5	月5	月5	月5	月5	月5
		火6	火6	火6	火6	火6	火6	火6	火6
		水7	水7	水7	水7	水7	水7	水7	水7
		木8	木8	木8	木8	木8	木8	木8	木8
		金9	金9	金9	金9	金9	金9	金9	金9
		土10	土10	土10	土10	土10	土10	土10	土10
		日11	日11	日11	日11	日11	日11	日11	日11
		月12	月12	月12	月12	月12	月12	月12	月12
		火13	火13	火13	火13	火13	火13	火13	火13
		水14	水14	水14					

1 市民開放授業の概要

市民開放授業とは

■定義

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するもので、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としたものです。

■特長

- ◇高等教育レベルの高度で体系的、先進的な内容を受講することができます。
- ◇大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としています。ただし、高等学校などの卒業証明書の提出は必要ありません。
- ◇大学の正規の授業科目を受講していただきますが、**単位の認定は行いません**。したがって、単位認定試験は行いません。また、**修了証明書等の発行も行いません**。

実施形態

■開放科目

- ◇20ページの「市民開放授業科目一覧」をご覧ください。

注意

- ①市民開放授業科目一覧に掲載されていない科目は受講できません。
- ②夜間主コースの学生、大学院生を対象とした授業科目は開放しません。

■開講期間・授業回数

後学期開講期間	2025年10月1日（水）～2026年2月3日（火） ※後学期（後半）は、2025年11月20日（木）～2026年2月3日（火）
---------	---

- ◇授業の回数は試聴期間の授業も含めて半期15回です。開講学期に「前半」または「後半」と記載がある授業の回数は、試聴期間の授業を含めて半期8回です。
- ◇市民開放授業では単位認定をしませんので、単位認定試験などの時間は、授業回数に含まれません。
- ◇教員の都合により休講になる場合があります。
- ◇**授業実施日については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する日がありますので、必ず後学期スケジュール（P2）を確認してください。**

■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 } 10:10	10:20 } 11:50	12:45 } 14:15	14:25 } 15:55	16:05 } 17:35

■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

■募集人員

◇1科目につき若干名とします。

◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人員を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

■受講要件

◇本事業の趣旨を理解し、正規の学生と同等に取り組むことができる方であればどなたでも受講できます。学歴・資格は問いません。

■受講料

◇受講料は、市民開放授業科目一覧（P20）に記載されていますので、ご確認ください。

◇休講分の受講料は返金いたしません。

■テキスト

◇授業で使用する教科書等は、担当教員の指示に従って、受講生ご自身でご用意ください。教科書については生協書籍部で取り扱っていますので、市民開放授業の受講生である旨を伝え購入してください。

◇テキスト以外に講義資料をあらかじめ印刷しておくことが必要となる科目もあります（P7参照）。

※学務情報システムからダウンロードする資料のうち、PDFファイルの資料は図書館のパソコンから印刷することができます（印刷代が必要ですが、Microsoft社のソフトウェア(Word、PowerPoint等)で作成した資料は閲覧及び印刷することができませんのでご注意ください。

2 受講までの流れ

Step1 「募集要項・授業内容（シラバス）」を手に入れる

◇「募集要項・授業内容（シラバス）」の入手方法は以下のとおりです。

- ①葉書・電話・メールでの請求…市民開放授業担当までご連絡いただければ、折り返し必要書類をお送りします（連絡先は次ページ参照）。
- ②来学での請求…市民開放授業担当までお越しください（場所はP16キャンパス案内図参照）。
- ③インターネットからダウンロード…静岡大学市民開放授業のウェブサイト（https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class_list.html）より、必要書類をダウンロードしてください。

Step2 受講したい授業を決める

◇募集要項とシラバスをよく読んで、受講したい授業を決めてください。

Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する

◇試聴とは、受講生が受講科目を決定する際に、授業の概要を確認していただくために設定しているものです。開講期間中の初回に限り、開放科目の授業は自由に試聴できます。事前申込は不要、途中入退室も可能です。試聴期間内に受講科目を確定し、受講申込書に科目番号・受講科目名・担当教員氏名を記入の上、担当教員から承認印を貰ってください。承認印を貰った後、切り取り済の受講連絡票（P63）に名前と受講科目を記入して、1枚を担当教員に渡してください（受講手続きについては、P11からのよくある質問Q&A参照）。

※正規の授業の1回目を、市民開放授業受講生向けの試聴期間に設定しています。

試聴期間 2025年10月1日（水）～10月7日（火）
※後学期（後半）は、2025年11月20日（木）～12月2日（火）

◇承認印がないと受講できません。受講料を振り込む前に必ず印またはサインを貰ってください。

Step4 必要書類を提出する [提出期限 10月15日（水）]

◇下記書類を市民開放授業担当（静岡キャンパス）へ郵送または直接提出してください（提出先、受付時間等は次ページ参照）。

- ①受講申込書（P65、担当教員の承認印が押印済みのもの）
※6科目以上受講する場合は、受講申込書をコピーし記入してください。
- ②運転免許証、保険証等の氏名及び現住所を確認できる書類の写し
※受講申込書裏面（P66）にあらかじめ貼付のこと。

受講申込期間 2025年10月1日（水）～10月15日（水）※締切日必着
※後学期（後半）は、2025年11月20日（木）～12月9日（火）

◇浜松キャンパスには受付窓口がありませんのでご注意ください。

Step5 受講料を納入する [払込期限 10月17日(金)]

◇郵便局で、「払込取扱票」により受講料を振り込んでください。払込取扱票は、この募集要項の末尾についています（記入例はP61）。

受講料払込期間 2025年10月1日(水)～10月17日(金) ※払込期限厳守
※後学期(後半)は、2025年11月20日(木)～12月11日(木)

◇現金での納入はできません。現金を直接お持ちいただいたり、書留等で送付いただいても納入手続きはできませんのでご注意ください。

◇授業で使用するテキスト代や授業に必要な資料印刷費、その他の費用は受講生の負担となり、受講料とは別となります。

◇休講等により担当教員の承認印が遅れる場合など、特別な事情で期限までに納入できない場合は、受講料払込期限前までに、必ず市民開放授業担当へその旨をご連絡ください。

Step6 受講証の確認をする

◇入金確認後、受講証が郵送されますので、手元に届き次第、確認してください。

◇受講証は、来学の際には必ず携帯してください。

◇申し込みされてから受講証が手元に届くまでの間は、担当教員に「受講証は発行手続き中である」旨を伝えて、受講してください。

受付・お問い合わせ先

■問い合わせ

地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00
(10/1～10/15のみ9:30～12:30、13:30～16:30)]
e-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp
(住所) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

■浜松キャンパスでの授業（休講・補講・教室・授業内容）に関する問い合わせ

[授業実施期間中のみ]
浜松教務課共通教育係（S-Port1階） ☎053-478-1006

※お問い合わせの前に、必ずP11～12の「よくある質問Q&A」をお読みください。

3 受講に際して

情報ネットワーク（学務情報システム・オンライン授業・無線LAN）

■学務情報システム（講義資料ダウンロード、課題提出等）

◇学務情報システムとは本学の学生がインターネット上で履修登録や成績参照をするためのもので、授業資料の配布や課題提出、アンケートなどもこのシステムを使って行います。授業によっては、担当教員から学務情報システムを利用して、授業の資料などを事前にダウンロードするよう指示される場合もあります。
[URL] <https://gakujo.shizuoka.ac.jp/lcu-web/>

◇学務情報システムの利用にはIDおよびパスワードが必要となりますので、アカウントをお持ちでない方には発行手続きを行います（申請不要）。

※IDの発行まで2週間程度かかります。資料の印刷については手続き中に限り、静岡キャンパスでは市民開放授業担当（事務局別館2階）、浜松キャンパスでは浜松教務課共通教育係（S-port1階）で対応します。

※パソコンをお持ちでない方には、附属図書館に受講生も利用できるパソコンがあります（台数限定）。利用については附属図書館のカウンターにお申し込みください。

■オンライン授業の受講について

◇一部の科目で、オンライン授業（動画配信型、教材等配信型等）を行います。動画配信型授業には附属図書館設置のパソコンは使用できませんので、ご自身でインターネットに接続できるパソコン、タブレット、スマートフォン等をご用意ください。

※動画配信は、Google Classroom、地域創造教育センターによる配信等により実施します。動画配信の有無については、科目一覧（P20）をご覧ください。

※オンライン授業の受講にかかる通信料は自己負担となります。受講にはWi-Fiなどの十分な通信環境を整えてください。

※端末機器の使用や操作方法、インターネット通信機器の接続や使用等に関するサポートはできませんのでご了承ください。

◇Google Classroomによるオンライン授業に参加するためには、webブラウザからGoogle Classroomにアクセスするか、Google Classroomアプリケーションをダウンロードしたうえで、専用のGoogleアカウントでログインする必要があります。対象科目を受講する方には、受講申込受付後にGoogleアカウントを発行し、通知します（申請不要）。

※Google Classroomの使用マニュアルを静岡大学市民開放授業ウェブサイト（https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class_list.html）に掲載しておりますのでご参考ください。

◇地域創造教育センターが配信するオンライン授業を受講する方には、受講申込受付後に専用のGoogleアカウント、配信日時、視聴期間などの詳細を通知します。

※通知はメールで配信しますので、必ず受講申込書にメールアドレスを記入してください。

■キャンパス内での無線LAN接続について

◇市民開放授業受講生は静大eduroam（エデュローム）ゲスト用アカウントによる接続設定をすることで、キャンパス内で無線LANをご利用いただけます。無線LANの利用を希望する場合は、受講申込書の該当箇所に○をつけて提出してください。受講申込受付後に、接続に必要なゲスト用アカウントとパスワードを発行し、通知書を送付します。

※静大eduroamゲスト用アカウントは半期で失効します（前学期に申請した場合の有効期限は9月30日まで、後学期に申請した場合は3月31日までとなります）。

※ご利用の端末の無線性能や無線アクセスポイントまでの距離等により電波強度の強弱が生じ、通信速度に影響が生じますのでご了承ください。

大学からの連絡（休講・教室変更・補講）

■掲示板

◇休講、教室変更、補講情報は、静岡キャンパスでは事務局別館前掲示板、浜松キャンパスでは教養教育掲示板にある市民開放授業用の掲示板に掲示します（P16～17参照）。

※急な休講がある場合、掲示板での対応が間に合わない場合がありますのでご了承ください。

◇休講情報は、携帯電話やパソコンで確認することができます。

休講情報URL <https://gakujo.shizuoka.ac.jp/portal/class-cancel>



◇現時点で教室が未定の授業は、教室決定後に掲示します。また、授業開始後も教室を変更することがありますので、必ず掲示板を確認するようにしてください。

■メール

◇掲示板に掲示する内容の他、授業に関する連絡（オンライン授業の案内、授業内容の補足、資料の準備の連絡等）をメールで配信します。**必ず受講申込書にメールアドレスを記入してください。**過去にメールアドレスを記入していただいた方も、改めて記入してください。また、記入するメールアドレスは1つにしてください。

◇携帯メールを記入される方は、大学からのメールが受信できるように設定をしてください（発信アドレス：gakujo@sb.shizuoka.ac.jp、kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp）。

◇メールアドレスの登録に時間がかかりますので、受講申込後、約2週間はメール配信ができません。

◇電話による休講等の連絡は行っていません。

◇全ての休講連絡がメールで配信されるとは限りません。

■その他

◇自宅を出る前に天候不良等で授業が開講されるかどうか心配な場合は、以下へお問い合わせください。

静岡キャンパス：教務課教務係 ☎054-238-4327
浜松キャンパス：浜松教務課共通教育係 ☎053-478-1006

通学方法

■自動車での通学

◇自動車での通学は、原則としてできません。本学教職員の駐車スペースも確保が難しい状況であり学内に十分な駐車スペースがないこと、学内の交通安全と教育・研究環境を確保する必要があることなどから、公共交通機関をご利用ください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承ください。

◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由がある場合のみ、駐車許可証を発行します。駐車許可証の申請には、医師の診断書又は身体障害者手帳の提示が必要です。

◇近隣の駐車場の紹介・斡旋は行っていません。

■自転車・バイクでの通学

◇自転車・バイクでの通学は可能です。ただし、構内への乗り入れは禁止されていますので、必ず指定の駐

輪場に置いてください。浜松キャンパスへ自転車、バイクで通学される方は、予め浜松学生支援課学生支援係窓口までご連絡ください（S-Port1階）。

◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由で学内の移動が困難な場合には、駐車許可証（バイクのみ。自転車は不要）を発行していますので、市民開放授業担当までご相談ください。

■学割の利用

◇通学定期券、通学用割引回数券、学生専用バスカードの購入など学割の利用はできません。購入の際に必要な「学校学生生徒旅客運賃割引証」、「通学証明書」または「在学証明書」等の発行ができないためです。

学生生活

■図書館の利用

◇受講生は、受講証とは別に発行される図書館利用票を提示して、図書館を利用することができます。図書館利用票の発行には、受講申込から数日かかります（個別に申請していただく必要はありません）。利用方法は「図書館の利用について」（P13～15）を参照してください。

◇開館日・時間等は、図書館のホームページ（<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>）でもご案内しています。

静岡キャンパス：静岡大学附属図書館静岡本館 ☎054-238-4479

浜松キャンパス：静岡大学附属図書館浜松分館 ☎053-478-1391

■生協の利用

◇受講生は、生協（大学内の店舗、食堂）を利用することができます。生協加入手続きをしてお使いください。生協加入には出資金等の手続きが必要です。出資金は市民開放授業終了時に返還いたします（お手続きが必要です）。詳しくは、下記の「静岡大学生生活協同組合」まで直接お問い合わせください。

◇フードショップ銀杏2階の休憩スペースも利用できます。

静岡大学生生活協同組合静岡キャンパス ☎054-237-2712

静岡大学生生活協同組合浜松キャンパス ☎053-412-6522

■一時保育施設の利用（静岡キャンパスのみ）

◇受講生は、本学構内にある多目的保育施設「たけのこ」を有料で利用することができます。生後8週間を経過した乳児から小学6年生までの児童の保育が可能です。授乳や搾乳ができ、シャワー・トイレ・湯沸し室があります。

◇ご利用の際は、原則として利用希望日の平日3日前の16時までにフォーム（<https://forms.office.com/r/86QEJstY7U>）からお申し込みください。その他、詳細については、下記の「静岡大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進室」まで直接お問い合わせください。

静岡大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進室（事務局棟3階）

☎054-238-3068 FAX：054-238-3160

e-mail：takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

<https://www.dei.shizuoka.ac.jp>

その他

■受講生の義務・注意

- ◇受講生は授業を受講するにあたって、担当教員及び本学関係者の指示に従うとともに、私語を交わしたり、騒音を発したり、その他授業を妨害するような行為をしてはいけません。
- ◇授業中は携帯電話の電源をお切りください。
- ◇授業中、録音・撮影をしてはいけません。

■受講の停止

- ◇受講生が、本学の秩序を乱したり受講生としてふさわしくない行為があった場合は、受講停止とすることがあります。

■損害賠償

- ◇受講生が故意または不注意により本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出るとともに、自己の責任においてこれを原状に回復し、またはその損害を賠償しなければなりません。

■連絡先の変更

- ◇連絡先に変更があった場合は、市民開放授業担当までご連絡をお願いします。

■受講生の呼び出し

- ◇ご家族等からの依頼による受講生の呼び出しには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

4 よくある質問 Q&A

受講手続きについて

Q1 受講資格は定められていますか？高等学校の卒業証明書などの提出は必要ですか？

(A) 大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としていますが、特に受講資格は定めていません。また卒業証明書などの提出も必要ありません。本事業の趣旨をご理解いただき、正規の学生と同等に取り組むことができる方が受講してください。

Q2 希望する授業についていけるか心配です。具体的な難易度を教えてください。

(A) 難易度については、科目一覧（P20）に記載してありますのでそちらを参考にしてください。また試験期間中、開放する授業科目は自由に試験することができますので、期間内に各自でご判断ください。

Q3 受入可能人数が若干名となっていますが何名ですか？申込多数の場合の選考方法を教えてください。

(A) 受入人数や希望者多数の場合の選考方法については、担当教員に一任しておりますので、各授業によって異なります。希望する授業の担当教員に直接おたずねください。

Q4 試験するには事前の申し込みが必要ですか？

(A) 事前申込は不要です。開放する授業の科目は、自由に試験できます。また、試験期間中に限り、途中の入退室も可能です。

Q5 どうしても初回の授業に出席できません。承認印は貰えませんか？

(A) 試験期間内に受講した人が優先となりますが、授業によっては定員に達していない場合、承認されることもありますので、担当教員に直接事情を話して相談してください（2回目の授業の時、またはシラバスに記入されているオフィスアワーを利用）。

Q6 初回の授業が休講でしたがどうしたらいいですか？書類の送付が申込期間内に間に合わないと受講できませんか？受講料は先に振り込んだ方がいいですか？

(A) 初回の授業が休講の場合、次回の授業が1回目の授業になりますので、その時に承認印を貰ってください。その場合には手続きが遅れても構いません。受講料は、必ず承認印を貰ってからお振り込みください。ただし、書類の送付及び受講料の振り込みが遅れる場合は、受講料払込期限前までに、必ず市民開放授業担当へその旨をご連絡ください（連絡先は下記参照）。

Q7 申込受付は郵送のみですか？

(A) 直接大学にお持ちいただいても結構です。受付場所は下記の通りです。なお、浜松キャンパスには受付窓口がありませんので、ご注意ください。「募集要項・授業内容（シラバス）」も下記の場所で配布しています。

静岡大学地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00]
(10/1～10/15のみ 9:30～12:30、13:30～16:30)

受講料について

Q8 受講料にテキスト代は含まれますか。

(A) 含まれません。授業に必要な図書・テキスト・資料のコピー代等は受講生の負担となります。指定された教科書は、生協書籍部で販売していますので、各自で購入してください (P9参照)。また、学務情報システムからダウンロードする資料は各自で印刷してください (P4参照)。

Q9 銀行振込や現金書留での支払いは可能ですか？直接現金を大学に持参してもいいですか？

(A) お支払い方法は郵便振込のみです。大学に現金をお持ちいただいても納入手続きはできません。

Q10 振込受領証やそのコピーは送付しなくていいのですか？

(A) 受講料の振り込みは大学側で確認できますので、受領証やそのコピーの送付は不要です。受領証は、控えとして各自で保管してください。

授業について

Q11 レポートや課題の提出、単位認定試験は受けなければいけませんか？受けてはいけませんか？

(A) 市民開放授業は単位の認定を行いませんので、原則としてレポートの提出やテスト、単位認定試験受験の必要はありません。ただ、これは提出、受験してはいけないということではありませんので、担当教員と相談、了承の上でしたら問題ありません。ただし、その場合も単位の取得はできません。

Q12 シラバス（授業計画）の内容と、実際の授業内容や進度が違うのはどうしてですか？休講になった回はすべて補講が行われますか？

(A) シラバス（授業計画）は授業の目標や内容、スケジュール等の授業計画をまとめたものですので、各担当教員の判断により、実際の授業とは内容や進度がシラバスと異なる場合があります。また、授業の回数は試聴期間の授業を含めて半期15回となっていますが、休講があった場合は、補講等による代替措置が各担当教員の判断により講じられます。

Q13 授業を休む場合は連絡が必要ですか？

(A) 特に必要ありません。

Q14 台風等の場合は休講になりますか？

(A) 大型の台風等の場合、大学全体で休講になることがあります。大学のホームページに掲載されることもあります。天候不良で開講されるか心配な場合は、以下へお問い合わせください。

静岡キャンパス：教務課教務係 ☎054-238-4327

浜松キャンパス：浜松教務課共通教育係 ☎053-478-1006

その他

Q15 授業終了後、受講証は返却しなければいけませんか？

(A) 返却の必要はありません。

5 図書館の利用について

静岡大学附属図書館は、静岡キャンパスの静岡本館、浜松キャンパスの浜松分館から構成され、そこには数多くの学習書や専門書、学術雑誌が所蔵されています。受講する科目についてさらに学習するため、あるいは生涯学習のため、この機会にぜひ図書館をご利用ください。図書館のホームページ (<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>) でもサービス内容をご覧ください。

開館時間やサービス内容は変更になる可能性があります。最新情報は、図書館ホームページでご確認ください。

資料案内

- ◇静岡大学附属図書館では、静岡本館に88万冊の図書と16,000タイトルの雑誌、浜松分館に31万冊の図書と4,500タイトルの雑誌を所蔵しています。その他にも、視聴覚資料、特別コレクション、マイクロ資料等があります。
- ◇これらの資料は図書館の閲覧室、書庫内にありますが、研究室に備え付けられているものもあります。

開館時間

※詳細は、図書館ホームページの開館カレンダーでご確認ください。

- ◇平日…9:00～20:00 (試験対応期間は9:00～21:00、夏休み等の休業期間中は9:00～17:00)
- ◇土曜…10:00～17:00 (試験対応期間は9:00～21:00)
- ※試験対応期間については日曜・祝日も9:00～21:00で開館します

休館日

- ◇日曜・祝日 (試験対応期間を除く)、年末年始、3月の土曜、大学入学試験日、蔵書点検期間、その他臨時休館日 (館内掲示、図書館ホームページなどでお知らせします)

利用にあたって

■図書館利用票

- ◇必ず図書館利用票をご持参ください。入館・退館時に必要です。また、図書の貸出、ネットワーク使用の手続きの際にも必要です。
- ◇図書館利用票は、静岡本館、浜松分館の両方で使うことができます。

■図書館利用票の受取方法

- ◇図書館利用票は市民開放授業受講申込後に図書館で発行します。受講する授業が開講されるキャンパスの図書館カウンターで、受講証等 (※) を提示し受け取ってください。なお、図書館利用票の発行は、受講申込から数日かかりますので、ご了承ください。

(※) 受講証、身分証明書 (氏名及び現住所が確認できる書類)、受講申込書の写しのいずれか。

- ◇静岡・浜松の両キャンパスで授業を受講される方は、原則として静岡本館で発行します。浜松分館で受け取りたい方は、事前に静岡本館までご連絡ください (☎054-238-4479)。

サービス内容

◇平日17:00以降および休日の開館時は、窓口のサービス内容が縮小されますのでご注意ください。

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
閲覧	館内3～5階の閲覧室にある図書・雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。	1～3階の開架図書・開架雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。
	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、サービスカウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～16:45です。土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、カウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～12:30、13:30～17:00です。平日の夜間、土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。
	研究室備付となっている資料（OPACで所在が「本館」「分館」以外のもの）は利用できません。	
	図書館内配架資料であっても一部ご利用できないものがあります。	
貸出	4階・5階の開架図書および書庫内図書が対象となります。	1階・2階の開架図書、書庫内図書が対象となります。
	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してサービスカウンターで手続きをしてください。	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してカウンターで手続きをしてください。
	浜松分館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、浜松分館の開架図書および書庫内図書です。サービスカウンターに申し込んでください。	静岡本館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、静岡本館の開架図書および書庫内図書です。カウンターに申し込んでください。
	貸出期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。サービスカウンターに申し込んでください。	貸出期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。カウンターに申し込んでください。
	参考図書（辞書・事典・統計類等）や雑誌の貸出はできません。	
	貸出冊数は3冊まで、貸出期間は2週間です。	
返却	サービスカウンターに返却してください。	カウンターに返却してください。
	図書館閉館時は、正面玄関右脇の返却ポストに入れてください。	図書館閉館時は、正面玄関横のブックポストに入れてください。
	返却期限日を過ぎると、遅れた日数分だけ貸出が停止されますのでご注意ください。	

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
館内コピー機の利用	コピー機は4階閲覧室に設置しています。	コピー機は1階閲覧室に設置しています。
	料金は、白黒は1枚10円、カラーは1枚50円です（図書館では両替をしませんので、小銭をご用意ください）。	
	複写する時は、著作権法の定めに基づき以下のことに注意してください。 ①図書館所蔵資料のみが対象です（自分のノート、レポート等は不可）。 ②「複写申込書」に記入してから複写してください。 ③1人1部、資料の一部分を複写できます。雑誌の最新号は複写できません。	
レファレンスサービス	レファレンスカウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。	カウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。
	対応時間は、平日9:00～12:30、13:30～17:00（休日は対応なし）です。	
	本学図書館を通じて、県内公共図書館からの図書の取り寄せができます。他大学からの取り寄せはできません。	
利用者用パソコン	ネットワーク利用のためのノートパソコンの貸出を行っています。利用の際はサービスカウンターに申し込んでください。	1階カウンターに利用者用パソコンが設置してあります。学術情報検索にのみ利用できます。利用の際は、平日9:00～17:00にカウンターに申し出てください。
	学内所蔵資料の検索については、各フロアに検索専用のパソコンがあります。	
注意事項	携帯電話での通話、私語はご遠慮ください。貴重品は常に携帯してください。他の利用者の迷惑になるような行為は慎んでください。閲覧室では水筒もしくはペットボトル（いずれも中身は水またはお茶のみ）の使用ができます。	
	図書を亡失または汚損した場合は、弁償していただくことがあります。	

お問い合わせ先

■静岡キャンパス

◇静岡大学附属図書館静岡本館 利用サービス係

☎054-238-4479 e-mail : lib-infsrv@adb.shizuoka.ac.jp

■浜松キャンパス

◇静岡大学附属図書館浜松分館 分館サービス係

☎053-478-1391 e-mail : libh-ill@adb.shizuoka.ac.jp

6 キャンパス案内図

静岡キャンパス



**地域創造教育センター
市民開放授業担当**
☎054-238-4817
[平日9:30~12:30、13:30~16:00
(10/1~15のみ9:30~12:30、
13:30~16:30)]
受講申し込み・募集要項請求先

事務局別館前掲示板
市民開放授業用

浜松キャンパス



7 市民開放授業科目一覧

表の見方

■No.

◇科目番号です。市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号で、シラバスの下端にある番号と一致しています。受講申込書や払込取扱票にはこの番号を記入します。

■学部等

◇授業を実施している学部等を指します。

■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 } 10:10	10:20 } 11:50	12:45 } 14:15	14:25 } 15:55	16:05 } 17:35

■教室名

◇静岡キャンパス

- ・共=共通教育棟、人=人文社会科学部棟、教=教育学部棟、理=理学部棟、農=農学部棟の略です。
- ・アルファベットは、それぞれの棟を表します。たとえば、「共A201」は、共通教育A棟201教室のことを指します。

◇浜松キャンパス

- ・情=情報学部棟、工1～8=工学部1号館～8号館、総=総合研究棟の略です。
- ※授業開始当初は、受講学生数等により教室を変更する場合がありますので、掲示に注意してください。

■受入可能人数

- ◇1科目につき若干名とします。
- ◇受講の可否については、教員の判断に委ねられますので、担当教員に確認してください（P11のよくある質問Q&A参照）。
- ◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人数を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

シラバスの見方

■授業の目標、学習内容、授業計画

◇これらを参考に受講したい科目を探してください。

■受講要件

◇要件を満たしているかご確認ください。

■オフィスアワー

◇教員が学生の質問や相談を受けるために、特定の場所で待機する時間のことです。会議等、特別な用事がないかぎり、ここに記された場所・時間に教員と直接会うことができます。

■科目番号

◇市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号です。受講申込書や払込取扱票に記入する番号です。

科目一覧には2025年8月末時点の情報を掲載していますので、内容に変更がある可能性があります。最新情報は、静岡大学ウェブサイトをご覧ください。(https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class_list.html)

科目一覧

〔静岡キャンパス〕

No.	学務等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・ 時限	教室名	動画配信の有無			受入可 能人数	難易度	受講料
							地域創造教育 センター配信	Google クラスルーム	その他			
1	全学	現代の社会	荻野 達史	後学期	月5・6	人文大講義室	有	無	無	若干名	A	9,700円
2	全学	初修外国語(ドイツ語)Ⅰ	大菌 正彦	後学期	月5・6	共P101	無	無	無	若干名	A	9,700円
3	全学	初修外国語(フランス語)Ⅰ	安永 愛	後学期	月5・6	共A105	無	無	無	若干名	A	9,700円
4	全学	哲学	堂園 俊彦	後学期	月5・6	共A301	無	無	無	若干名	A	9,700円
5	全学	化学Ⅱ(物理化学B)	松本 剛昭	後学期	火1・2	共A103	無	無	無	若干名	A	9,700円
6	全学	大規模自然災害の科学	北村 晃寿	後学期	火3・4	共C406	無	無	無	若干名	A	9,700円
7	全学	日本国憲法	板倉 美奈子	後学期	火3・4	共A301	有	無	有	若干名	B	9,700円
8	全学	富士山学	徳岡 徹	後学期	火3・4	共B401	有	無	無	若干名	A	9,700円
9	全学	初修外国語(中国語)Ⅱ	張 盛開	後学期	水5・6	共A203	無	有	無	若干名	A	9,700円
10	全学	発酵とサステナブルな地域社会	藤井 真生	後学期	金3・4	共B501	有	無	無	若干名	A	9,700円
11	人文社会科学部	経営情報論	伊東 暁人	後学期	月7・8	人E201	無	無	無	若干名	C	9,700円
12	人文社会科学部	フランス文学概論Ⅱ	安永 愛	後学期	月7・8	人B302	有	無	無	若干名	B	9,700円
13	人文社会科学部	現代産業論	横田 宏樹	後学期	火3・4	人E201	無	無	無	若干名	C	9,700円
14	人文社会科学部	中国語会話・作文Ⅰ	張 盛開	後学期	火7・8	人B303	無	無	有	若干名	B	9,700円
15	人文社会科学部	先史文化論	山岡 拓也	後学期	水3・4	人B403	無	無	無	若干名	C	9,700円
16	人文社会科学部	ヨーロッパ文明史Ⅱ	藤井 真生	後学期	水5・6	人B303	無	無	無	若干名	C	9,700円
17	人文社会科学部	英語学各論Ⅰ	大村 光弘	後学期	水7・8	人B403	無	無	有	若干名	B	9,700円
18	人文社会科学部	考古学概論	篠原 和夫	後学期	木3・4	共B501	有	無	無	5名	A	9,700円
19	人文社会科学部	ドイツ言語文化基礎演習Ⅰ	大菌 正彦	後学期	金3・4	人B303	無	無	無	若干名	B	9,700円
20	理学部	植物生化学	天野 豊己	後学期	月3・4	理B212	有	無	無	若干名	C	9,700円
21	理学部	放射化学Ⅰ	大矢 恭久・近田 拓未	後学期	月7・8	理B213	有	無	無	若干名	B	9,700円
22	理学部	位相数学入門	依岡 輝幸	後学期	火1・2	理B203	無	無	無	若干名	B	9,700円
23	理学部	基礎化学熱力学	関根 理香	後学期	火1・2	共B301	有	無	無	若干名	B	9,700円
24	理学部	固体物理学Ⅱ	清水 康弘	後学期	火1・2	理B211	有	無	無	若干名	B	9,700円
25	理学部	振動と波動Ⅱ	松本 正茂	後学期	水1・2	理B211	有	無	無	若干名	B	9,700円
26	理学部	代謝生化学	山本 歩	後学期	水1・2	理B202	無	無	無	若干名	B	9,700円
27	理学部	進化古生物学	佐藤 慎一	後学期 (後半)	水3・4	共C611	有	無	無	若干名	B	6,900円
28	理学部	量子化学Ⅰ	松本 剛昭	後学期	水3・4	理B213	有	無	無	若干名	B	9,700円
29	理学部	化学反応論	関根 理香	後学期	金1・2	理B213	有	無	無	若干名	C	9,700円
30	理学部	地球科学入門Ⅳ	木村 浩之	後学期	金7・8	理B202	無	無	無	若干名	C	9,700円
31	農学部	雑草学	稲垣 栄洋	後学期	水3・4	農大講義室	無	無	無	若干名	A	9,700円
32	グローバル 共創科学部	臨床心理学概論	江口 昌克	後学期	火1・2	共B401	有	無	有	若干名	B	9,700円
33	グローバル 共創科学部	地球環境問題と法	板倉 美奈子	後学期	金3・4	共A104	有	無	有	若干名	B	9,700円

〔浜松キャンパス〕

No.	学務等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・ 時限	教室名	動画配信の有無			受入可 能人数	難易度	受講料
							地域創造教育 センター配信	Googleクラス ルーム	その他			
34	全学	心理と行動B	高橋 晃	後学期	火3・4	情13	無	無	無	若干名	A	9,700円
35	全学	魅せる化学～環境から経済まで	田中 康隆	後学期	金3・4	総24	無	無	無	若干名	A	9,700円
36	全学	SFの世界	高橋 晃	後学期	金5・6	情13	無	無	無	若干名	A	9,700円
37	全学	大規模自然災害の科学	北村 晃寿	後学期	金5・6	工2-22	無	無	無	若干名	A	9,700円

【難易度欄】

- A 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次対象の授業)
 - B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次対象の授業)
 - C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次対象の授業)
- ※演習の難易度は「D」になります。
- D 専門的な知識が必要のため、履修登録にあたり担当教員と面談を行う。(大学3～4年次対象の授業)

シラバス一覧

授業科目名	現代の社会 (Contemporary Japanese Society)				
担当教員名	荻野 達史 (OGINO Tatsushi)		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	人文C棟 403	
分担教員名	吉田 崇、白井 千晶、太田 美帆、宇賀田 栄次				
クラス	学部共通 2	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6
キーワード	社会学的発想法、自己、教育、仕事・就労、キャリア、家族、地域、グローバリゼーション、福祉、食				
授業の目標	人間・社会について、歴史・文化・制度といった様々な条件を考慮し、深く理解することができ、同時に共生への志向を尊重できるようになること。(専門知識=40%、探求方法=20%、多様共生+社会自覚=20%、論理思考+読解表現=20%)				
学習内容	人間は、我々が想像する以上に社会的存在である。社会学は、ミクロな人間関係からマクロな社会構造にいたるまで埋め込まれた社会秩序とその変動を分析し、現代的な社会問題、そして各人の生き方に関わる問題についても多角的に検討する学問分野である。この講義では、様々なトピックを取り上げることで、現代社会についての関心を高め、理解を深めるとともに、社会的な発想法や分析視角、そして研究法のバリエーションを知る機会となる。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会学への招待 (荻野) 2. 現代社会と自己 (荻野) 3. 現代社会と能力 (荻野) 4. 現代社会と教育・仕事 (吉田) 5. 現代社会と生活時間 (吉田) 6. 現代社会と社会意識 (吉田) 7. 現代社会と食 (太田) 8. 現代社会と中山間地域 (太田) 9. 現代社会とグローバリゼーション (太田) 10. 現代社会とキャリア教育政策 (宇賀田) 11. 現代社会と就業意識 (宇賀田) 12. 現代社会と就職活動 (宇賀田) 13. 現代社会と結婚・子の出生 (白井) ※オンデマンド 14. 現代社会と福祉レジーム (白井) ※オンデマンド 15. 現代社会と子どもの福祉 (白井) ※オンデマンド (試験期間中に実施) 				
受講要件					
テキスト					
参考書	全体をカバーするものとして、筒井淳也 2020『社会を知るためには』筑摩書房、船津衛他編著 2014『21世紀社会とは何か：現代社会学入門』恒星社厚生閣、塩原良和・竹ノ下弘久編著 2010『社会学入門』弘文堂、長谷川公一ほか編 2021『新板 社会学』有斐閣、西村大志他編著 2016『映画は社会学する』法律文化社を挙げておく。その他、各教員が適宜紹介する。				
予習・復習について	とくに復習に力を入れてほしい。論点の整理と、自分の認識に付け加わった部分あるいは自分の認識が変えられた部分をノートに書き留めておくことを勧める。また、関心の持ったトピックについては、ぜひ参考文献から本を選んで購読して、現代社会についての認識をさらに深めてほしい。				
成績評価の方法・基準	各教員が担当回にコメントペーパーあるいは学務情報システムを通じて講義の理解度を確認し評価する。その上で総合得点を計算する(100点換算する)。				
オフィスアワー	問合せは、各回の担当教員にメールで連絡すること。				
担当教員からのメッセージ	<p>難易度 (A)</p> <p>1. 県立大学単位互換 (認めない) 2. 科目等履修生 (認めない)</p> <p>一方的な講義ではなく、できるだけ具体的な資料などをもとに、受講者が考え、問いを深めていくように工夫したい。また、紹介される文献には、新書など読みやすいものも多く含まれるので、ぜひ自らの読書の幅を広げ、社会についての理解を深めるチャンスとして、この講義を生かして欲しい。</p>				

授業科目名	初修外国語（ドイツ語）Ⅰ （ German Ⅰ ）				
担当教員名	大菌 正彦 （ OZONO Masahiko ）		所属等	学院院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 423	
分担教員名					
クラス	人 1	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6
キーワード	ドイツ語、ドイツ文化、言語運用能力、ダイバーシティ、文法、読解、聴解				
授業の目標	読む・書く・聞く・話すという 4 技能のバランスに配慮して、ドイツ語の基礎的運用能力を身につける。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化を多角的に理解できるようになる。				
学習内容	後期については、前期の復習や、理解が不十分だった部分の確認も行いながら、ゆっくりと進めていきます。教科書の各課は、「メイン・ダイアログ」「文法」「練習」の 3 つの部分から成ります。原則として 2 回の授業で 1 課ずつ進めます。授業中には受講生同士のペア練習も行います。また、折に触れ、さまざまなドイツ事情についても紹介します。なお、本科目は体験型学習科目です。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発音のまとめ・初級文法のまとめ 2. Lektion 1. 週末はどうだった？ 3. 練習：過去形と現在完了形 4. Lektion 2. 今日雨が降らなかったら、ビアガーデンに行きたいな 5. 練習：副文 6. Lektion 3. あそこの椅子の下にある傘は誰の？ 7. 練習：関係文 8. まとめと復習（1）：Lektion 1-3、中間試験（授業時試験） 9. Lektion 4. 明日サイクリングに行く気はある？ 10. 練習：zu 不定詞句 11. Lektion 5. 日本ではたくさん日本酒が飲まれているの？ 12. 練習：受動態 13. Lektion 6. そんなにたくさんお金があったら何をする？ 14. まとめと復習（2）：Lektion 10-12、今後の履修へ向けて（オンライン授業回） 15. 練習：接続法 16. 期末試験 				
受講要件	クラス指定に従って履修してください。				
テキスト	大菌正彦・Roland Schulz『ドイツ語ネクスト・ステージ [改訂版]』三修社、2024、9784384131079 (2,200 円＋税)。				
参考書	独和辞典は必携です。				
予習・復習について	授業 1 回あたり、2～3 時間程度の授業外学習が前提です。				
成績評価の方法・基準	筆記試験の成績（80%）と平常点（20%）をもとに評価します。平常点は、原則として授業への参加状況を加味して評価します。正当な理由なく 3 分の 1 以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。				
オフィスアワー	金曜日昼休み				
担当教員からのメッセージ	あらかじめ大学生協にて教科書を購入してから受講してください。教科書は初回授業から使います。この授業は、「初修外国語（ドイツ語）Ⅱ」（水曜 5・6 時限、トロスト先生）との組み合わせで開講されています。週 2 回の初修外国語の授業に加えて、人文社会科学部専門科目「専門ドイツ語基礎Ⅱ」（金曜 9・10 時限、大菌）を履修するのもお勧めです。				

授業科目名	初修外国語（フランス語）Ⅰ （ French Ⅰ ）				
担当教員名	安永 愛 （ YASUNAGA Ai ）		所属等	大学院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 526	
分担教員名					
クラス	人 1	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6
キーワード	フランス語の初歩、フランス語圏の文化、フランス語の発音、フランス語のリズム、フランス語の文法、ダイバーシティ				
授業の目標	前期の「初修外国語（フランス語）入門Ⅰ」の授業内容を習得したことを前提として、さらにフランス語の基礎力を身につけていく。仏検 4 級程度を目標とする。フランス語に親しみ、フランス語圏の文化に触れる。				
学習内容	前期の「初修外国語（フランス語）入門Ⅰ」の授業に引き続き「Paris-Bordeaux フランスの世界遺産と食文化を巡る旅」を教科書として、「読む」「聴く」「書く」「話す」を繰り返しながら、フランス語の基礎を習得します。また、フランス語圏の文化的背景にも少しずつ触れ、興味関心を深めていきます。				
授業計画	<p>「初修外国語（フランス語）入門Ⅰ」に続いて、教科書第 8 課から最後（第 14 課）までを進めていきます。教科書を離れてフランス語の名文句や、フランスの季節の話題などにも触れます。授業計画については以下の通りです。第 16 回目に期末試験（リスニングを含む）を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 教科書第 8 課 定冠詞の縮約 補語人称代名詞 教科書第 8 課 発音練習・シャドーイング・聞き取り・書き取り・映像視聴 教科書第 9 課 中性代名詞、代名動詞 教科書第 9 課 発音練習・シャドーイング・聞き取り・書き取り・映像視聴 教科書第 10 課 命令形 感嘆文 天候・時間の表現 教科書第 10 課 発音練習・シャドーイング・聞き取り・書き取り・映像視聴 教科書第 11 課 部分冠詞 中性代名詞 数量の表現 教科書第 11 課 発音練習・シャドーイング・聞き取り・書き取り・映像視聴 教科書第 12 課 比較級 単純未来 教科書第 12 課 発音練習・シャドーイング・聞き取り・書き取り・映像視聴 教科書第 13 課 複合過去 半過去 教科書第 13 課 発音練習・シャドーイング・聞き取り・書き取り・映像視聴 教科書第 14 課 条件法現在 接続法現在 教科書第 14 課 発音練習・シャドーイング・聞き取り・書き取り・映像視聴 総復習と問題演習（オンデマンド配信授業） 期末試験 				
受講要件	再履修生以外は、学生番号により指定されています。				
テキスト	藤田裕二著「パリ・ボルドー 食文化と世界遺産を巡る旅 1」（朝日出版社、2023 年、2750 円）ISBN-13 978-4255352596。				
参考書	仏和辞典（電子辞書でも構いません）。				
予習・復習について	毎回宿題を課します。復習を大切にしてください。教科書の QR コードから各課のダイアログの映像にアクセスできますので、それを繰り返し視聴し、真似て、暗誦できるようにしましょう。練習問題にも必ず取り組んでください。				
成績評価の方法・基準	期末の筆記試験（リスニング問題も含む。100 点満点）の素点を基準とします。本科目は、静岡大学「成績評価のガイドライン」の対象外の除外科目です。				
オフィスアワー	月曜 1・2 限。事前のメールでのアポイントにより、他の時間も対応します。（yasunaga.ai@shizuoka.ac.jp）				
担当教員からのメッセージ	まずは、フランス語の音とリズムを楽しんでください。せっかくフランス語を勉強するのですから、フランス語圏に目を向けてみましょう。静岡大学にはフランスの大学（ロレーヌ大学、リヨン第 3 大学）との交換留学の制度もありますので、そういったことも視野に入れてみてください。				

授業科目名	哲学 (Philosophy)				
担当教員名	堂園 俊彦 (DOHZONO Toshihiko)		所属等	学院院グローバル共創科学領域	
			研究室	人文 A 棟 416	
分担教員名					
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6
キーワード	他人の心、自我、心身問題、自由、正義、帰納、功利主義、義務論、神、相対主義				
授業の目標	「哲学」という言葉は、往々にして「こむずかしい」「わけのわからない」ということを意味します。しかし哲学は、私たちが当然視している——しかし決して自明ではない——前提を疑う学問であり、その意味ではとても身近な学問です。この講義では、哲学者たちがどのような問題をどのように考えてきたのかを理解するとともに、批判的かつ論理的な思考力を養うことを目的とします。				
学習内容	この講義では、哲学の歴史において議論されてきた多様なトピックに示されてきた立場を概観した上で、それぞれの立場の優れた点や問題点を学修します。				
授業計画	本講義では以下のトピックを扱います。 1. 哲学について 2. 外的世界の存在 3. 他人の心 4. 心と身体 5. 人格の同一性 6. 自由と決定 7. 中間まとめ 8. なぜ道徳的であるべきか 9. 功利主義とは 10. 義務とは 11. 分配と正義 (オンデマンド型授業) 12. 生命 (医療) と倫理 13. 帰納の正当化 14. 相対主義とは 15. 神の存在証明				
受講要件	特にありません。				
テキスト	授業中に指示します。				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・スティーブン・ロー『フィロソフィー・ジム 「考える脳」をつくる 19 の扉』, ランダムハウス講談社, 2003 年. ・トマス・ネーゲル『哲学ってどんなこと?—とっても短い哲学入門—』, 昭和堂, 1993 年. ・麻生博之・城戸淳『哲学の問題群』, ナカニシヤ出版, 2006 年. ・山本信『哲学の基礎』, 北樹出版, 1988 年. ・ブレンダン・ウィルソン『自分で考えてみる哲学』, 東京大学出版, 2004 年. ・ナイジェル・ウォーバートン『哲学の基礎』, 講談社, 2010 年. 				
予習・復習について	毎回、次回扱うトピックに関連した短い文章を配布します。事前に目を通し、「自分ならこの問題に対してどのような立場をとるだろうか」ということを考えた上で、受講して下さい。また、講義終了後は、講義内で提示された問いについて検討するようにしてください。				
成績評価の方法・基準	最終テストによって評価をします。3 回以上欠席した場合にはテストを受けることができません。				
オフィスアワー	基本的にはメールで受け付けます (dozono.toshihiko@shizuoka.ac.jp)。				
担当教員からのメッセージ	2022 年度人文社会科学部において開講した「哲学概論」と同じ内容になります。				

授業科目名	化学Ⅱ（物理化学B） （ Chemistry II(Physical Chemistry B) ）				
担当教員名	松本 剛昭 （ MATSUMOTO Yoshiteru ）		所属等	大学院理学領域	
			研究室	総 512	
分担教員名					
クラス	理MP	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2
キーワード	熱化学、化学平衡、酸と塩基、電気化学、化学反応速度				
授業の目標	化学反応のメカニズムを物理化学的に理解するための基礎的知識を学習し、それを複合的に応用する論理的思考力を身につける。				
学習内容	物質の状態変化や化学変化に伴う熱エネルギーの役割と、化学反応の平衡や方向を理解するための熱化学の基本法則を学ぶ。また、酸と塩基、電気化学、化学変化の速度と反応機構についても、熱化学との関連に基づいて学習する。なお、この講義で使用するテキストの1章から8章については、前期に開講される化学Ⅰ（物理化学A）で学習する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 化学Ⅱを開講するにあたって：熱化学、化学平衡、電気化学、反応速度を学ぶ必要性について 2. 状態変化に伴うエネルギー”熱化学”：熱力学の第一法則 3. 状態変化に伴うエネルギー”熱化学”：転移のエンタルピー、エンタルピーのはたらき 4. 化学反応の平衡：平衡の記述 5. 化学反応の平衡：諸条件の影響、相の間の平衡 6. 自然に起こる変化の方向”熱力学の第二法則”：変化はなぜ起こるのか 7. 自然に起こる変化の方向”熱力学の第二法則”：エントロピーと熱力学の第二法則 8. 自然に起こる変化の方向”熱力学の第二法則”：ギブズ関数 9. イオンを含む平衡：酸と塩基 10. イオンを含む平衡：pHの利用 11. 化学エネルギーと電気エネルギー”電気化学”：化学電池 12. 化学エネルギーと電気エネルギー”電気化学”：起電力と平衡、電極電位の使い方、起電力の熱力学 13. 化学変化の速さ：反応の速度、速度式 14. 化学変化の速さ：速度と諸条件 15. 化学変化の速さ：触媒作用（オンデマンド型授業） 				
受講要件	前期に開講される化学Ⅰ（物理化学A）を履修していることが望ましい。				
テキスト	物理化学の基礎、Atkins・Clugstone 著／千原・稲葉訳、東京化学同人、1984年、4-8079-0226-1				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・アトキンス物理化学要論 Atkins・de Paula 著／千原・稲葉訳 東京化学同人 ・分子の変化からみた世界 安池智一著 放送大学教育振興会 				
予習・復習について	授業毎に教科書の該当ページを予習・復習をすること。また、各回の講義毎に与える演習問題を各自で積極的に取り組むこと。				
成績評価の方法・基準	筆記試験 100%				
オフィスアワー	時間は特に定めていません。質問などがあればまずは電子メールで問い合わせてください。研究室に來訪しての質疑応答を希望する場合、事前に電子メールで連絡した後に日程調整をします。				
担当教員からのメッセージ	質問は随時受け付けます。授業中でも授業時間外でも、いつでも気軽に訪ねてください。				

授業科目名	大規模自然災害の科学 (Science of large-scale natural disasters)				
担当教員名	北村 晃寿 (KITAMURA Akihisa)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	共通教育 C 棟 311	
分担教員名	岩田 孝仁、小山 眞人				
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	大規模自然災害、南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害、静岡県				
授業の目標	大規模自然災害、特に静岡県で発生確率の高い南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害などについての科学的見方を修得する。				
学習内容	①大規模自然災害をもたらす原因として、プレートテクトニクスについて理解する。 ②大規模自然災害の発生予測の理論とそれを導く履歴の調査方法を理解する。 ③静岡県で発生確率の高い大規模自然災害の実態を理解する。				
授業計画	第 1 回：プレートテクトニクス（北村） 第 2 回：2011 年 3 月 11 日東北地方太平洋地震の概要（北村） 第 3 回：東北地方太平洋地震・貞観地震による津波堆積物（北村） 第 4 回：静岡県の地質（北村） 第 5 回：静岡県における海溝型地震（北村） 第 6 回：静岡県の地殻変動・地震（北村） 第 7 回：静岡県とその周辺の直下型地震と断層運動（北村） 第 8 回：静岡県の南海トラフ巨大地震・津波の履歴(その 1)（北村） 第 9 回：静岡県の南海トラフ巨大地震・津波の履歴(その 2)（北村） 第 10 回：東海地震説から東北沖太平洋地震そして現在（岩田） 第 11 回：南海トラフの巨大地震への備え（岩田）オンデマンド型授業で第 11 回を冬期休業期間に配信する予定 第 12 回：富士山と伊豆東部火山群の噴火史と防災（小山） 第 13 回：静岡県における津波災害と土砂災害（北村） 第 14 回：気候変動と温暖化現象（北村） 第 15 回：海水準変動と都市地盤（北村）				
受講要件	とくになし。				
テキスト	静岡の大規模自然災害の科学（岩田孝仁・小山真人・北村晃寿編、静岡新聞社、発売日 2020 年、ISBN : 978-4783805557）				
参考書	なし。				
予習・復習について	配信する PDF 資料で予習・復習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験により評価する。ただし、授業中にホームページ閲覧、動画・音楽視聴・配信、ゲーム、通信・通話などを行っていた場合には、成績評価に影響することがあります。授業中に私語を行っていたり、断りもなく出入りした場合には、成績評価に影響することがあります。				
オフィスアワー	相談内容・日時に関しては、事前にメールで連絡下さい（アドレス：kitamura.akhisa@shizuoka.ac.jp）				
担当教員からのメッセージ	大規模自然災害ならびにその科学的な研究手法を学ぶことに関心のある受講生を歓迎します。時間厳守。				

授業科目名	日本国憲法 (The Japanese Constitution)				
担当教員名	板倉 美奈子 (ITAKURA Minako)		所属等	学術院グローバル共創科学領域	
			研究室	人文社会科学部A棟 533	
分担教員名					
クラス	学部共通 3	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	近代市民憲法、近代立憲主義、権力分立、統治機構、基本的人権、国民主権、国家と個人				
授業の目標	多くの人にとっては日頃あまり身近に感じるがない日本国憲法について、その全体像を概観し、憲法の基本事項を修得することを目標とする。ただ憲法の条文を暗記するのではなく、その歴史や背景、憲法のさまざまな規定が自分たちの日々の生活や人生にどのようにかかわるのか、自分たちが国家にどのように向き合い、憲法をどのように活かしていくのかを考えられるようになることをめざす。				
学習内容	(1) 日本国憲法の基本原理、統治機構、人権について概観し、憲法の基本事項について概説する。 (2) 私たちの日々の生活の中にあるさまざまな問題に憲法がどのように関わっているのかを、時事問題など具体的な事例を通して解説する。 (3) 主権者として、国家にどのように向き合い、憲法をどのように活かしていくべきかについて考える。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス&イントロダクションー日本国憲法の誕生、日本国憲法の基本原理 憲法の基礎ー近代市民憲法、近代立憲主義、権力分立、基本的人権、国民主権 統治機構 (1)ー国会 統治機構 (2)ー選挙 統治機構 (3)ー内閣 統治機構 (4)ー裁判所 国民主権と天皇制 平和主義 (1)ー日本国憲法9条の成立 平和主義 (2)ー9条解釈の過去・現在・未来 基本的人権 (1)ー総論 基本的人権 (2)ー包括的基本権&表現の自由①ー概説 *オンデマンド授業回ー12月・冬季休業期間中に配信 基本的人権 (3)ー表現の自由②ー論点 基本的人権 (4)ー生存権・労働基本権 基本的人権 (5)ー教育を受ける権利 憲法改正をめぐる問題&まとめ 				
受講要件	基本的には、教職、公務員志望者向けの科目です。＜教養＞としての法学について学びたい人は「法と社会」(前期開講)、「政治と社会」(G共)などの科目を履修することを薦めます。				
テキスト	駒村圭吾編『プレステップ憲法<第4版>』(弘文堂、2024年) * 昨年度まで使用していた第3版とは一部内容が変更されている可能性があります				
参考書	志田陽子編著『<合格水準>教職のための憲法<第2版>』(法律文化社、2023年) 高橋和之編『新・判例ハンドブック【憲法】第3版』(日本評論社、2024年) *詳細は初回授業で案内します。				
予習・復習について	ざっとでもいいので、授業受講前に教科書の該当箇所に通しておくと、授業が理解しやすくなります。レジュメは授業の前日までに学情を通じて配布します。授業を受講するときには、自分で授業を聴き取り、要点をメモする、ノートに書き留めることが大切です。レジュメなども参照しながら、自分なりのノートの作り方を工夫しましょう。 授業を聴いて、記憶が新鮮なうちに、教材やレジュメ・ノートを見直したり、教科書を読んだりして、わからない部分をクリアしておくなど、こまめに復習をしておくのが効果的です。				
成績評価の方法・基準	授業期間中の課題ないし小テスト (40%) と期末試験 (論述式) の得点 (60%) により評価します。				
オフィスアワー	火曜日・7・8時限 (14:25-15:55) 事前にメールまたは口頭にて問い合わせるようにしてください。				
担当教員からのメッセージ	高校の「公共」または「政治経済」の教科書の関連部分を読み直して理解したうえで履修することを薦めます。また、憲法など法律学を学ぶにあたっては、社会に目を向け、興味を持つことが大前提です。とくに近年日本国憲法をめぐる情勢は日々動いていると言っても過言ではない状況です。1日1回は新聞・ネット・TVのニュースを見る習慣をつけましょう。				

授業科目名	富士山学 (Fujisan Sciences)				
担当教員名	徳岡 徹 (TOKUOKA Toru)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A棟 517	
分担教員名	小二田 誠二、山岡 拓也、伊藤 舜				
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	富士山、世界文化遺産、自然、景観、植物、防災、水質、火山、生い立ち、旧石器時代				
授業の目標	富士山は、火山国日本の象徴的活火山であり、日本一の高さと容積を持つ。このような富士山は古くから人々を魅了し、様々な観点から富士山を見てきた。現代でも様々な分野で富士山は研究されている。この授業を受けることで、科学的側面と文化的側面の両方から富士山を深く理解し、これらの知識を自らの分野に活用することができるようになる。				
学習内容	理学的側面（植物学、動物学、地質学、防災学）、人文科学的側面（考古学、景観学）など多様な側面から富士山を学ぶ。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスと総論：富士山に生きる生物－活火山と共に－（静岡大学客員教授、増澤武弘） 2. 富士山の上部高山帯、永久凍土とコケ植物（静岡大学客員教授、増澤武弘） 3. 世界文化遺産と富士山の植物群落（静岡大学客員教授、増澤武弘） 4. 世界文化遺産の構成資産と富士山の自然（静岡大学客員教授、増澤武弘） 5. 眺める富士山：景観と表現（人文社会科学部、小二田誠二） 6. 富士山の植物：垂直分布（理学部、徳岡徹） 7. 富士山の植物：水平分布（理学部、徳岡徹） 8. 富士山の植物相 1：富士山に分布する植物（理学部、徳岡徹） 9. 富士山の植物相 2：富士山の周辺に分布する植物（理学部、徳岡徹） 10. 富士山の動物（理学部、伊藤舜） 11. 富士山と土砂災害（農学部、今泉文寿） 12. 富士山の生い立ち（理学部、石橋秀巳） 13. 富士山の噴火（理学部、石橋秀巳） 14. 富士山と旧石器時代研究との関わり-愛鷹山麓における旧石器時代研究-（人文社会科学部、山岡拓也） 15. 富士山の水（理学部、宗林留美）（オンライン） 				
受講要件	特になし				
テキスト	特になし。必要に応じて各回の講義で資料を配布します。				
参考書	特になし。必要に応じて各回の授業で紹介します。				
予習・復習について	富士山に関する書籍を読み、予習復習して下さい。				
成績評価の方法・基準	授業担当者ごとに小レポートを課し、これによって評価します。				
オフィスアワー	居室：理学部 A 棟 A517 平日 9：00～17：00 まで在室していますが、フィールドワークに出かけていることも多いので、来訪の際は事前にメールしてください。 徳岡：tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp				
担当教員からのメッセージ	日本の象徴でもある富士山は様々な分野で研究が行われています。富士山のある静岡県の大学生として、深く富士山を理解することは卒業後も様々な場面で役に立つはずですよ。				

授業科目名	初修外国語（中国語）Ⅱ （ Chinese Ⅱ ）				
担当教員名	張 盛開 （ Shengkai Zhang ）		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 325	
分担教員名					
クラス	人 1	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	水 5・6
キーワード	中国語、入門、新感覚、キャンパス、ストーリー、ダイバーシティ				
授業の目標	発音に力を入れ、初級的な文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。大学生にとって興味のある話題や身近におきることを取り上げながら、現代中国への理解を深めます。				
学習内容	キャンパスでの生活を主軸とし、ストーリーを学んでいきます。 日常生活で使う実用的な会話表現を、応答練習などを通して実践的に学びます。 外国語をある程度使いこなしたいため、単語をたくさん記憶しましょう。				
授業計画	この授業は、「初修外国語（中国語）入門Ⅰ」（月 5・6 時限、保坂担当）と同一教科書を使ったリレー授業となります。 1 ガイダンスと自己紹介 2 発音及び基本文法事項の復習 3 運転できるようになった 4 可能表現 5 ネットショッピング 6 心理動詞の用法 7 上田の部屋は千恵の部屋より大きい 8 比較表現 9 留学に行くつもりだ 10 経験 11 お金を使い果たした 12 把構文 13 ふられたー受身文 14 中国の名勝 15 オンライン回（オンデマント実施） 16 試験				
受講要件	中国や中国語に興味のある方				
テキスト	王松・王安など 『多角度 新感覚 キャンパス・ストーリー 中国語入門』 好文出版 ISBN-13 : 978-4872201659				
参考書	鐘ヶ江信光著『中国語のすすめ』／三宅登之著『一冊目の中国語』／辞書『デイリーコンサイス中日・日中辞典』 参考サイト 毛毛語茶園 YouTube チャンネル https://www.youtube.com/@maomaoyuchayuan				
予習・復習について	予習について： 毛毛語茶園 YouTube チャンネルの講義動画を聞いてください。 復習について： 毛毛語茶園 YouTube チャンネルの講義動画を聞いて授業への理解を深めてください。 シリーズ動画 詩、など、童話、新語、中華料理などみて勉強してください。				
成績評価の方法・基準	授業中の質疑応答、小テスト数回 4割ほど 期末試験 1回 6割ほど				
オフィスアワー	火曜日の昼休み 人文 A 棟 325				
担当教員からのメッセージ	楽しく中国語を学び、中国語と中国文化に親しんで中国へ旅をしましょう！中国語を学んで日本語を見直しましょう。				

授業科目名	発酵とサステナブルな地域社会 (The Institute for Interdisciplinary Studies of Fermentation and Sustainability i)				
担当教員名	藤井 真生 (FUJII Masao)		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 220	
分担教員名	板倉 美奈子、鈴木 実佳、木村 洋子、丑丸 敬史、横濱 竜也、大原 志麻、辻 佐保子、若松 泰之、佐藤 洋一郎				
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4
キーワード	発酵飲料、サステナビリティ、地域社会、植物資源				
授業の目標	サステナブルな地域社会形成の事例について、発酵飲料を題材として学際的に学ぶ。				
学習内容	①発酵飲料が都市や地域の歴史文化を形成する一因となってきたことを理解する。 ②地域固有の酵母や植物資源を用いた新たなビール醸造の可能性について理解する。 ③発酵飲料が地域における人の結びつきや産業を創出する仕組みについて理解する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 回(10/3) : オリエンテーション (藤井) 2. 第 2 回(10/10) : 発酵食品と酵母 (木村) 3. 第 3 回(10/17) : 酒造り (日比野) 4. 第 4 回(10/24) : アメリカの演劇文化と発酵 (辻) 5. 第 5 回(11/7) : Brewing and Home (鈴木) 6. 第 6 回(11/14) : 自然界由来微生物を活用したビールの開発 (袴田) 7. 第 7 回(11/21) : 都市社会におけるビール文化の歴史 (藤井) 8. 第 8 回(11/28) : 静岡のクラフトビール (橋爪) 9. 第 9 回(12/5) : 花酵母の単離とその応用 (丑丸) 10. 第 10 回(12/12) : 日本酒のテロワール (佐藤) 11. 第 11 回(12/19) : 地域経済と発酵酒 (若松) * オンデマンド 12. 第 12 回(1/9) : 南アルプスでウイスキーを作る。(瀬戸) 13. 第 13 回(1/9-16) : ビール醸造と法令 (横濱) * オンデマンド 14. 第 14 回(1/16) : 発酵飲料・食品と SDGs・カーボンニュートラル (板倉) 15. 第 15 回(1/23) : ビールを通じたサステナブルな地域社会創生の試み (大原) 				
受講要件	とくになし。				
テキスト	とくになし。				
参考書	担当者がその都度紹介する。				
予習・復習について	必要な場合は担当者が指示する。				
成績評価の方法・基準	コメントペーパー70%、期末レポート 30%により評価する。発酵とサステナブルな地域社会研究所主催のシンポジウム等の参加レポートを提出した場合は、随時加点します。				
オフィスアワー	藤井：金曜午前。メールで事前に連絡をください (fujii.masao@shizuoka.ac.jp)。				
担当教員からのメッセージ	歴史文化や自然資源、産業など、地域のあり方を学際的に学ぶことに興味のある受講生を歓迎します。学外から招聘した講師へ積極的に質問してください。				

授業科目名	経営情報論 (Management Information)				
担当教員名	伊東 暁人 (ITO Akito)		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	共通L棟 414	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	月7・8
キーワード	ICT (情報通信技術)、経営、組織、意思決定、コミュニケーション、ビジネスプロセス、システム、情報、ネットワーク、企業				
授業の目標	組織(おもに企業)におけるICT利用の変遷を概観したうえで、経営情報管理に関わる基礎的な知識を習得するとともに、ICTが組織における意思決定やコミュニケーションに与える影響、ビジネスプロセスの変革、これからの課題について理解できるようになること。				
学習内容	経営情報論は、経営学の領域のなかでは最も新しい分野の一つであるが、本講義では、組織(おもに企業)におけるICT活用の変遷を踏まえたうえで、どのような考え方で情報システムの利用が発展してきたのか?、ICTと人間の関係はどうあるべきなのか?これからの経営と情報システムの課題は何か?、といったことを考察する。				
授業計画	<p>授業はテキストに沿って行われるが、加えて関連資料等をファイルで配信するので、学務情報システムからの連絡には特に注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> はじめに 講義の概要説明、経営情報論とは何か? <ul style="list-style-type: none"> 情報社会の到来と企業経営 経営資源としての情報 組織体と情報システム 経営情報論の意義 経営情報論の前提としての組織論、戦略論 経営情報論の前提としてのシステム論 経営情報システム概念の変遷-1 <ul style="list-style-type: none"> ADP から MIS DSS 経営情報システム概念の変遷-2 <ul style="list-style-type: none"> OA SIS BPR ICTと組織変革 <ul style="list-style-type: none"> ICTと組織の関連性 ネットワークとユビキタス ICTの進展とその基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> データ処理能力の向上 標準化の進展 DB技術の発展と活用 経営情報システムの設計・開発・管理・開発方法論・情報化投資・セキュリティと監査 (オンライン[オンデマンド配信]予定) ICTとビジネスイノベーション-1 <ul style="list-style-type: none"> 現代の競争環境 イノベーションをめぐる議論 ICTとビジネスイノベーション-2 <ul style="list-style-type: none"> プロセスイノベーションとICT、企業戦略 ネットビジネス <ul style="list-style-type: none"> シリコンバレーモデル サーチエコノミー プラットフォームの台頭 ICTと組織コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> 組織コミュニケーションの機能 CMCの実践としてのテレワーク ビジネスインテリジェンスとナレッジマネジメント <ul style="list-style-type: none"> データエンジニアリング データアナリシス 組織知 ICTと社会 <ul style="list-style-type: none"> 社会的存在としての企業 ICTの社会的影響 情報倫理の諸課題 講義のまとめと今後の課題・展望 期末試験 				
受講要件	受講は原則として、入学年度の「学生便覧」の「別表第I 学科別授業科目表」に当該科目が掲載されている学年の学生に限られます。経営学とICTの初歩的な知識があることを前提とします。(経営学I・II履修済が望ましい。)				
テキスト	遠山・村田・古賀『現代経営情報論』(有斐閣、2021年) ISBN:978-4-641-22178-9 2700円+税 ほかに、レジュメと参考資料を学情 Sys から DL 配信する。				
参考書	岸・佐藤編『[新訂] 経営情報学入門』(放送大学教育振興会、2023年) ISBN:978-4-595-32410-9、木嶋・岸『経営情報学-理論と現象をつなぐ論理-』(有斐閣、2023年) ISBN:978-4-641-22208-3、生稲・高井・野島『コアテキスト 経営情報論』(新世社、2021年) ISBN:978-4-88384-331-2 など。ほかにも授業内で適宜、紹介する。				

予習・復習について	予習：テキストで次回授業の箇所を読み、授業 HP からレジュメと参考資料を DL し目を通す。復習：テキストの該当章末練習問題を解いてみる。
成績評価の方法・基準	月末レポート 4 回（10%×4 回＝40%）、期末試験（60%）で評価する予定。一定回数のレポート提出が期末試験の受験前提資格となる。
オフィスアワー	正式には初回授業で連絡するが、月曜 13:00-14:00 を予定している。メールでの問い合わせ等には随時対応する。
担当教員からのメッセージ	日ごろから、新聞、雑誌、TVなどで企業や情報システムの実際について関心を持つように。 1. 県立大学単位互換（認めない） 2. 科目等履修生（認める） 難易度：C（専門的）

授業科目名	フランス文学概論Ⅱ (Introduction to French LiteratureⅡ)				
担当教員名	安永 愛 (YASUNAGA Ai)		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 526	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	月 7・8
キーワード	フランス文学、フランス文学作品の魅力、名場面、様々な文学のトピック、ダイバーシティ				
授業の目標	フランス文学作品の中から様々なトピックに関連する名場面を選び、熟読する。受講生もフランス文学作品の中から自分の好きな名場面を選び、その名場面(テキスト)をフランス語で朗読するとともに、その名場面をなぜ選んだのか、その魅力は何かについてプレゼンテーションを行う。 (a-2,a-3,b-2,b-3,b-4)※()内の記号は、授業ごとに学位授与に必要な能力等を細分化して明示するためにカリキュラムマップに記載されているものである。				
学習内容	初回で授業のイントロダクションを行ったのち、第2講から毎回、あるトピックに関連するフランス文学作品の名場面に触れていく。授業の終盤では、受講生によるプレゼンテーションを行う。毎回の授業で取り上げるのは、2015年から2024年にかけて毎年秋に開催された「静大生による多言語朗読会」でフランス語班が取り上げた作品である。				
授業計画	初回で授業のイントロダクションを行ったのち、第2講から第11講まで毎回、あるトピックに関連するフランス文学作品の名場面に触れていく。授業の終盤では、受講生によるプレゼンテーションを行う。 1. フランス文学作品の魅力。「私の好きな名場面」について 2. 人と動物：ジュール・ルナール『博物誌』 3. 子供と大人：サン＝テグジュペリ『星の王子様』 4. 愛の物語：ジョルジュ・サンド「自伝」「書簡」 5. 童話の世界：シャルル・ペロー「長靴をはいた猫」 6. 怪異の物語：マルセル・エメ「壁抜け男」 7. 憧れ：シャルル・ボードレー「この世界の外ならどこでも」、アルチュール・ランボー「永遠」 8. 旅の物語：ジャン＝クリストフ・リュファン『永遠なるカミーノ』 9. 味覚と記憶：マルセル・ブルースト『失われし時を求めて』 10. 平和について：ルネ・シャール「ゲルニカ」「平和の顔」 11. 祝祭：アルベール・カミュ「結婚」 12. 受講生によるプレゼンテーション「私の好きな名場面」(詩など) 13. 受講生によるプレゼンテーション「私の好きな名場面」(小説など) 14. 受講生によるプレゼンテーション「私の好きな名場面」(エッセー、書簡など) 15. まとめ：フランス文学作品の魅力				
受講要件	初修外国語としてフランス語を履修していることを条件とします。				
テキスト	適宜、コピーを配布します。				
参考書	適宜、指示します。				
予習・復習について	毎回、配布する資料を読んできてください。授業終盤のプレゼンテーションに向けて準備を進めてください。				
成績評価の方法・基準	授業でのコメントペーパー (20%)、プレゼンテーション (50%)、期末レポート (30%)				
オフィスアワー	月曜1・2限。そのほかの時間もメールのアポイントにより対応します。yasunaga.ai@shizuoka.ac.jp				
担当教員からのメッセージ	フランス文学作品の持つ力、魅力に触れてみてください。				

授業科目名	現代産業論 (Theories of Modern Industry)				
担当教員名	横田 宏樹 (YOKOTA Hiroki)		所属等	大学院人文社会科学領域	
			研究室	共通教育 L 棟 322	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	産業と社会、地場産業、産業集積、地域の価値				
授業の目標	本講義は、産業とは何か、産業を分析するとはどのようなことかという基本的な意味を理解し、産業の組織や活動に関して、グローバル、ナショナル、ローカルという様々な空間や多様な視点から見るための知識を獲得できるようになることを目標にします。				
学習内容	本講義は大きく分けて、「産業とは何か」「社会と産業」「資本主義経済と産業」「地域と産業」から構成されます。それぞれ、概念的な説明に加えて、事例などを紹介しながら、実際の産業活動を理解し、問題を発見し、解決策を導くための知識の役割や使い方を考えていきます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：授業の進め方 2. 産業の定義と分析の視角 3. 現代社会の形成と産業 4. 第4次産業革命と Society5.0 と田園回帰 5. 資本主義経済分析と産業（1）フォーディズム 6. 資本主義経済分析と産業（2）トヨタイズム 7. 第二の産業分水嶺：第3のイタリアと柔軟な専門化 8. 地域社会と産業：(1) 産業集積はなぜ起こるのか 9. 地域社会と産業：(2) 都市の成長と産業の発展 10. 地域社会と産業：(3) 地域特化の経済と地場産業 11. レポート課題の説明（オンデマンド型） 12. 静岡の産業：(1) ものづくり県としての静岡 13. 静岡の産業：(2) 静岡の地場産業 14. 地域の価値と地場産業：理論 15. 地域の価値と地場産業：実践的応用 				
受講要件	本講義は、2019年度入学以降の学生が履修できます。				
テキスト	授業において、適宜指示します。				
参考書	<p>立見淳哉 (2019)『産業集積と制度の地理学：経済調整と価値づけの装置を考える』ナカニシヤ出版、978-4-7795-1387-9</p> <p>松永桂子 (2023)『地域経済のリデザイン：生活者視点から捉えなおす』学芸出版社、978-4-7615-2844-7</p> <p>除本理史・立見淳哉 (編著) (2024)『「地域の価値」とは何か：理論・事例・政策』中央経済社、978-4-502-52091-4</p>				
予習・復習について	授業において紹介する文献などで復習をすることをお勧めします。				
成績評価の方法・基準	期末レポートで評価します。				
オフィスアワー	授業初回時に説明します。				
担当教員からのメッセージ	ノートを取ることも授業の一環なので、基本的に授業プリントなどは配布しません。				

授業科目名	中国語会話・作文 I (Chinese Conversation and Composition I)				
担当教員名	張 盛開 (Shengkai Zhang)		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 325	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	火 7・8
キーワード	中国語、会話、作文、文化、ダイバーシティ				
授業の目標	発音に力を入れながら、中国語の語学力と会話力の向上を目指します。(1-a、2-b) 大学生にとって興味のある話題や身近におきることを取り上げ、中国文化に触れあい、現代中国への理解を深めます。(1-d、2-d) 「括弧内の記号は、授業ごとに学位授与に必要な能力等を細分化して明示するためにカリキュラムマップに記載されているものである。」				
学習内容	日本人大学生と留学生の生活を軸とし、ストーリーを学んでいきます。 日常生活で使う実用的な会話表現を、応答練習などを通して実践的に学びます。 これまで学んできた単語や文法を会話実践に取り込み、確実に自分のものにしていきます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、ウォーミングアップ 2. 第 1 課 本文と文法を学ぶ 3. 第 1 課 練習問題、会話実践、作文 4. 第 2 課 本文と文法を学ぶ 5. 第 2 課 練習問題、会話実践、作文 6. 第 3 課 本文と文法を学ぶ 7. 第 3 課 練習問題、会話実践、作文 8. 第 4 課 本文と文法を学ぶ 9. 第 4 課 練習問題、会話実践、作文 10. 第 5 課 本文と文法を学ぶ 11. 第 5 課 練習問題、会話実践、作文 12. 第 6 課 本文と文法を学ぶ 13. 第 6 課 練習問題、会話実践、作文 14. 作文の発表 15. オンライン回 オンデマント実施 復習 16. 会話試験 				
受講要件	入門中国語履修済みの方か、中国語能力を備えている方。留学生歓迎。				
テキスト	葉紅・飯島啓子『改訂版ステップアップ 対話で楽しむ中国語』駿河台出版社 ISBN978-4-411-03170-9				
参考書	鐘ヶ江信光著『中国語のすすめ』／三宅登之著『一冊目の中国語』／辞書『デイリーコンサイス中日・日中辞典』 参考サイト 毛毛語茶園 YouTube チャンネル https://www.youtube.com/@maomaoyuchayuan				
予習・復習について	予習について： 学ぶ予定の文法と関連内容を事前に調べてください。 復習について： キャンパスで留学生を捕まえて、あるいは毛毛語茶園にて留学生と会話を実践してください。 その他：毛毛語茶園 YouTube チャンネルの講義動画を聞いて授業への理解を深めてください。 シリーズ動画 詩、など、童話、新語、中華料理などみて勉強してください。				
成績評価の方法・基準	会話実践、作文 5 割ほど 期末試験 1 回 5 割ほど				
オフィスアワー	火曜日の昼休み 人文 A 棟 325				
担当教員からのメッセージ	楽しく中国語を学び、中国語と中国文化に親しんで中国へ旅をしましょう！留学生と友達になり、対話してきましょう。				

授業科目名	先史文化論 (The Study of Prehistoric Culture)				
担当教員名	山岡 拓也 (YAMAOKA Takuya)		所属等	大学院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 315	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	水 3・4
キーワード	新人 (ホモ・サピエンス)、先史考古学、後期旧石器時代、行動的現代性				
授業の目標	新人 (ホモ・サピエンス) の出現と拡散について、高校までの歴史の授業で詳しく説明されることはほとんどないだろう。しかし、近年、新人の出現と拡散の研究は、世界各地で様々な分野の研究者によって推進され、多くの成果が挙げられている。そうした研究の全体像を知り、人類の行動的現代性や文化的多様性の起源に関する理解を深めることが、この授業の目標である。				
学習内容	我々の直接の祖先である新人 (ホモ・サピエンス) の出現と拡散をめぐる研究は、形質人類学・遺伝人類学・先史考古学を中心として一大学際領域が形成され、世界各地で進められている。それぞれの分野や地域の研究で何が明らかにされ、何が研究課題とされているのか概観するとともに、日本列島を対象にした最新の研究成果を紹介する。授業の中では、各地の発掘調査の内容についても紹介する。(専門知識：40%、探求方法：40%、多様共生：10%、社会自覚：10%)				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 新人 (ホモ・サピエンス) の出現と拡散に関わる研究の背景 3. 形質人類学と遺伝人類学の研究の概要 4. 先史考古学の研究方法 (1)：環境考古学 5. 先史考古学の研究方法 (2)：民族考古学 6. 先史考古学の研究方法 (3)：実験考古学 7. ヨーロッパにおける研究状況 (1)：後期旧石器時代初頭の研究状況 8. ヨーロッパにおける研究状況 (2)：中期旧石器時代 - 後期旧石器時代移行期の研究の研究状況 9. 西アジア・アフリカにおける研究状況 10. 東南アジア・オセアニアにおける研究状況 11. 東アジアにおける研究状況：ロシア・中国・韓国での研究状況 12. 日本列島における研究状況 (1)：日本列島の資料の特徴 13. 日本列島における研究状況 (2)：石器群の変遷過程とその意味 14. 日本列島における研究状況 (3)：台形様石器の研究 15. まとめ：人類の行動的現代性をどのようにとらえられるのか (試験週に実施します) 				
受講要件	考古学概論と考古学概説を履修済みであることが望ましい。				
テキスト	なし。適宜プリントを配布します。				
参考書	授業の内容に関連する参考書は適宜紹介します。				
予習・復習について	授業で紹介された参考書を自ら入手し、読解するなどをつうじて、授業内容の理解をさらに深めてください。				
成績評価の方法・基準	期末のレポートによって評価します。				
オフィスアワー	水曜 5・6 限 (12 時 45 分～14 時 15 分)。人 A315。要連絡、連絡先 (yamaoka.takuya@shizuoka.ac.jp)。				
担当教員からのメッセージ	毎回、授業の終わりにコメントペーパーに記入してもらっているので、積極的に疑問・感想などをよせてください。よせられた質問のいくつかには、次回の授業の初めに答えるようにします。				

授業科目名	ヨーロッパ文明史Ⅱ (History of European CivilizationⅡ)				
担当教員名	藤井 真生 (FUJII Masao)		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 220	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分 選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	水 5・6
キーワード	ヨーロッパ中世、植民運動、民族意識、歴史認識				
授業の目標	多様な人間・社会について、歴史・民族・文化・制度といったさまざまな条件を考慮し、深く理解することができ、同時に共生への志向を尊重する態度を身につける。				
学習内容	中世の東中欧社会に大きな変化をもたらしたドイツ人植民運動の原因・展開・影響を知る。また、この歴史的現象が後世にどのように解釈されたのかを学び、過去を学ぶことが時代によってどのような意味を持つのかを考察する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：東中欧世界とは 2. 『ハーメルンの笛吹き男』 3. 中世ヨーロッパの農業と農民 4. ドイツ人植民運動の波 5. 東中欧における都市の成立 6. 植民運動における景観の変化 7. 中世都市の生活 8. 中世チェコのドイツ人観① 9. 中世チェコのドイツ人観② 10. フス派運動の展開 11. フス派理解とハプスブルク家の支配 12. 啓蒙主義からナショナリズムへ 13. チェコの自治・独立運動 14. 20 世紀の展開 15. 共産主義国家と歴史研究 * オンデマンド 				
受講要件	とくになし。				
テキスト	授業前後に、スライド資料を学務情報システムで配信する。				
参考書	適宜紹介する。				
予習・復習について	できれば講義と並行して参考書に目を通しておいってください。				
成績評価の方法・基準	期末レポートおよび授業への貢献度（発言回数など）により評価します。				
オフィスアワー	金曜日午前。事前にメールで連絡してください。				
担当教員からのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県立大学単位互換（認める） 2. 科目等履修生（認める） 難易度 C この講義をきっかけにして歴史を学ぶ意義、歴史研究のもつ影響力について思いをめぐらせてみてください。				

授業科目名	英語学各論 I (Topics in English Linguistics I)				
担当教員名	大村 光弘 (OMURA Mitsuhiro)		所属等	学院院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 427	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	水 7・8
キーワード	認知言語学、構文、イディオム、意味論、語用論、テキスト、談話、ダイバーシティ				
授業の目標	認知言語学的視点から構文に関わる様々な現象を観察することで、問題発見とその解決に取り組む。このような活動をとおして受講生は、ことばに対する探究力を向上させることができる。学科 DP の 2 と 3 (1-b, 1-c, 2-b) の達成を目的としている。なお、() 内の記号は、授業ごとに学位授与に必要な能力等を細分化して明示するためにカリキュラムマップに記載されているものである。				
学習内容	学科 CP の専修発展科目に相当する。認知言語学の基礎知識を応用・発展させながら、構文に纏わる様々な言語現象を認知言語学的観点から観察・分析する。テキストとして『解いて学ぶ認知構文論』を用い、問題提起から問題解決へと実践的な内容となる。				
授業計画	第 1 回(10/01)：世界の切り取り方 <もの>と<こと>、<状況>の類型 第 2 回(10/08)：世界の切り取り方 事象構造のAspect分類、因果のつながり 第 3 回(10/22)：世界の切り取り方 参加者の役割 第 4 回(10/29)：構文の種類 <たんなる足し算ではダメ!、構文の力> 第 5 回(11/05)：構文の種類 構文のネットワーク、規則としての文法としての文法 第 6 回(11/12)：構文の種類 idiomatic とは何か、統語規則+辞書 第 7 回(11/19)：構文の種類 イディオムからコロケーションへ 第 8 回(11/26)：構文の力のまとめ 第 9 回(12/03)：ことば・文化・思考 語彙レベルの違い、文法レベルの違い 第 10 回(12/10)：ことば・文化・思考 文化的スクリプトの違い、普遍的な概念 第 11 回(12/17)：語用論 発話の意味、対話者が持つ暗黙の前提 第 12 回(online)：語用論 発話行為とポライトネス 第 13 回(01/07)：語用論 テキスト性と推論 第 14 回(01/14)：語用論 一貫性と結束性、情報構造 第 15 回(01/21)：言語運用のまとめ 定期試験				
受講要件	言語学概論 I・II、英語学概論 I などを既修得であり、言語学・英語学に関する基礎知識が身についている。				
テキスト	『解いて学ぶ認知構文論』、瀬戸賢一・山添秀剛・小田希望、大修館書店、¥ 2 3 7 6 受講者は各自アマゾン等で購入してください。				
参考書	必要に応じて適宜紹介する。				
予習・復習について	毎週、予習に 1 時間程度、復習に 1 時間程度を確保する必要がある。				
成績評価の方法・基準	平常点 15% 及び試験 85% で評価する。				
オフィスアワー	水曜日 16:00-17:00 (事前連絡を求む。これ以外の時間帯も対応可。)				
担当教員からのメッセージ	1. 県立大学単位互換 (認める) 2. 科目等履修生 (認める) 3. 難易度 (B/C) 授業内容で理解できなかった事柄や疑問点をそのままにしないで、担当教員に質問するなどして理解を深めてほしい。				

授業科目名	考古学概論 (Introduction to Archaeology)				
担当教員名	篠原 和大 (SHINOHARA Kazuhiro)		所属等	大学院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 316	
分担教員名	山岡 拓也				
クラス	人文専門 1 B	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	木 3・4
キーワード	考古学、遺跡、遺構、遺物、型式学、層位学、考古学的調査法				
授業の目標	考古学がどのような学問かを理解し、遺跡・遺構・遺物からその内容を考えるとともに研究法、調査法について理解する。 (専門知識：30%、探求方法：50%、多様共生：10%、社会自覚：10%)				
学習内容	考古学では、遺跡をいろいろな角度から調査し、そこでいろいろな方法を用いて種々の情報を引き出していく。また、その成果を室内に持ち帰った後にも、いろいろな方法を用いてものを分析し、考古学的な結論を導き出していく学問である。このような、考古学の調査から研究に至る過程を紹介しながら、考古学がなにを考える学問かを解説していく。				
授業計画	第 1 回～第 8 回：担当篠原（第 8 回：追加のオンライン授業）、第 9 回～第 15 回：担当山岡 1. ガイダンス 2. I 考古学とはどんな学問か ①考古学と現代社会－考古学のイメージ／②考古学の資料と考古学の特徴 3. II 考古学の研究法の基礎 ①層位学と型式学 4. II 考古学の研究法の基礎 ②遺跡と時間・空間 5. II 考古学の研究法の基礎 ③考古資料の分類と視点 6. III 考古学の調査の方法 ①遺跡の形成と考古学的調査 7. III 考古学の調査の方法 ②考古学的調査の方法 8. III 考古学の調査の方法 ③資料の記録と整理・報告書の刊行（追加のオンライン授業） 9. IV 考古学の新しい方法 日本列島を対象とした考古学の調査・研究の特徴と各時代の考古資料 10. IV 考古学の新しい方法 環境考古学 11. IV 考古学の新しい方法 民族考古学 12. IV 考古学の新しい方法 実験考古学 13. IV 考古学の新しい方法 民族考古学と実験考古学 14. IV 考古学の新しい方法 形成過程理論と地考古学 15. VI 考古学と現代社会との関わり				
受講要件	社会学科と地域創造学環の所属ではない学生の定員枠は 35 名とします（超えた場合は抽選）。教職免許の取得が必要な場合は抽選に漏れても履修可能とするので担当教員に連絡してください。				
テキスト	なし。毎回プリントを配布します。				
参考書	藤本 強『考古学の方法』2000 年東京大学出版会（ISBN：978-4-13-022052-1・2,970 円）。このほかの関連する文献は適宜紹介します。				
予習・復習について	資料（プリント）の多くは事前に配布しますので目を通しておいてください。ものを対象とする学問ですから、ノートだけではなく具体的なイメージを持つことが重要です。				
成績評価の方法・基準	筆記試験で評価します。				
オフィスアワー	篠原：水曜 3・4 限（10 時 20 分～11 時 50 分）人 A316。 要連絡、連絡先（shinohara.kazuhiro@shizuoka.ac.jp）。 山岡：水曜 3・4 限（10 時 20 分～11 時 50 分）人 A315。 要連絡、連絡先（takuyayamaoka@cii.shizuoka.ac.jp）。				
担当教員からのメッセージ	遺跡や博物館で実際にものを見ることをおすすめします。登呂遺跡や賤機山古墳、片山廃寺など近隣にも重要な遺跡があります。リニューアルされた登呂博物館・登呂遺跡公園は是非見学してください。				

授業科目名	ドイツ言語文化基礎演習 I (Basic Seminar in German Language and Literature I)				
担当教員名	大菌 正彦 (OZONO Masahiko)		所属等	学術院人文社会科学領域	
			研究室	人文 A 棟 423	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4
キーワード	ドイツ語、言語運用能力、読解、翻訳、ダイバーシティ				
授業の目標	特に「読む」能力を重点的に向上させ、中級レベルのドイツ語を運用できるようになる。翻訳や異文化についての考察を通し、ことばや文化を多角的に理解できるようになる。学術研究への取り組み方の基礎を理解するとともに、言語資料の収集・整理を通して、一連の調査内容を言語化し、発表できるようになる。 (DP 2-b : 外国語の運用力、2-c : 多様な文化の理解、3-a : 情報収集と分析力、3-c : 自己の主張の論理的表現力) ※ () 内の記号は、授業ごとに学位授与に必要な能力などを細分化して明示するためにカリキュラムマップに記載されているものです。				
学習内容	日本語や他言語による文学作品のドイツ語訳(あるいはその逆)を、言語学的な関心から読んでいきます。その際、特に日本語とドイツ語の相違について検討し、理解を深めます。ドイツ語の読解に加え、初級文法の復習、基本語彙や慣用句の学習も行います。また、異文化や翻訳の問題にも着目し、受講生に調査・発表を行ってまいります。「ドイツ言語文化基礎演習 II」とは作品が重複しないよう調整します。本科目は体験型学習科目です。				
授業計画	<p>受講生の発表と議論を中心に演習形式で進めていきます。受講生が具体的に取り組む学習内容は、I. 日本語テキスト・ドイツ語テキストの読解(下の 1~5)、II. 翻訳の諸問題についての理解(下の 6~13)、III. 調査と発表(下の 14, 15)の大きく三つです。ただしこれらは学習内容を挙げたものであり、実際の授業では発表と議論が続きます。作家名・作品名は一例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 村上春樹をドイツ語で読む 2. 川上弘美をドイツ語で読む 3. 芥川龍之介をドイツ語で読む 4. ケストナーの作品を複数の日本語訳で読む 5. 『星の王子様』(サン=テグジュペリ)を複数のドイツ語訳で読む 6. 翻訳方法の種類 7. 文法と翻訳 (1) : 時制・法・態など 8. 文法と翻訳 (2) : 品詞など 9. テキストの種類と翻訳 (1) : 文体の問題など 10. テキストの種類と翻訳 (2) : 専門語・特殊語の問題など 11. 異文化間の翻訳 (1) : レアリアの問題など 12. 異文化間の翻訳 (2) : 多義やカテゴリー化のずれなど 13. 事態把握と翻訳 (オンライン授業回; 第 13 週から第 14 週の間配信します) 14. 発表 : 作品読解 15. 発表 : 翻訳分析 				
受講要件	初級レベルのドイツ語が身につけていること。予習して授業に参加できること。				
テキスト	プリントで配布します。				
参考書	太田達也『ドイツ語おもしろ翻訳教室』NHK 出版, 2007, 9784140350744. 独和辞典は必携です。その他授業中に適宜紹介します。				
予習・復習について	授業 1 回あたり、2~3 時間程度の授業外学習が前提です。				
成績評価の方法・基準	平常点 (50%) と発表 (50%) をもとに評価します。平常点は、予習・復習や議論などを含めた授業への参加度・貢献度をもとに評価します。出席は評価の前提です。正当な理由なく 3 分の 1 以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。				
オフィスアワー	金曜日昼休み				
担当教員からのメッセージ	ドイツ語を読む練習をしながら、言語や文化に関する知識を深めていきたいと思っています。力が伸びていくのを実感できるのはきっと楽しいと思います。				

授業科目名	植物生化学 (Plant biochemistry)				
担当教員名	天野 豊己 (AMANO Toyoki)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	総 721	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	月 3・4
キーワード	タンパク質、葉緑体、光合成、分子シャペロン、膜透過、老化、過敏反応				
授業の目標	植物のタンパク質合成および分解の分子機構を、発生および分化、老化と合わせて総合的に理解する。				
学習内容	光化学系の構造と機能、その構築機構、膜透過装置の作用機構などについて、タンパク質の立体構造とその機能変化の視点から解説を行う。これらのタンパク質複合体が形成する上で重要な分子シャペロンの作用機構および膜透過に関与するトランスロケーターについて解説する。また植物の老化および病原菌への作用機構など、生理学的に興味深い現象についても解説を行う。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 光合成装置の概説 2. 光化学系 II 3. シトクロム b₆f 複合体と Q サイクル 4. 光化学系 I 5. FoF₁-ATP 合成酵素 6. 膜タンパク質の分類 7. 膜タンパク質の分析方法 8. 分子シャペロン I 型 9. 分子シャペロン II 型 10. 膜透過装置の種類 11. 膜透過装置の輸送機構 12. 葉緑体の膜透過装置 13. 葉緑体におけるタンパク質分解 14. 植物の老化過程の分子機構 15. 植物におけるプログラム細胞死 (オンデマンド型によるオンライン授業) 				
受講要件	植物の生化学およびタンパク質科学について興味があること				
テキスト	主としてプリントを配布する。				
参考書	植物の生化学・分子生物学(学会出版センター、ISBN 9784762230400)、細胞の分子生物学(Newton Press、ISBN 9784315520620)、ヴォート 生化学(上下) 第4版(東京化学同人、ISBN 9784807908073(上)、ISBN 9784807908080(下))、など。				
予習・復習について	しっかり行って下さい。				
成績評価の方法・基準	特別な事情のない限り 2/3 以上の出席を評価対象とし、成績評価は期末試験で判断します。				
オフィスアワー	訪問前にメール(amano.toyoki@shizuoka.ac.jp)で連絡を下さい。オフィスは総合棟 721 です。				
担当教員からのメッセージ	積極的に取り組んで下さい。				

授業科目名	放射化学 I (Radiochemistry I)				
担当教員名	大矢 恭久 (OYA Yasuhisa)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A202	
分担教員名	近田 拓末				
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	月 7・8
キーワード	放射化学、原子核、放射線				
授業の目標	放射化学および核化学に関する原子核そのものやその挙動、放射線と物質との相互作用について理解する。				
学習内容	一般の化学が原子核のまわりの核外電子、特に価電子についてのみ取扱うのに対し、放射化学および核化学では原子核そのものやその挙動を対象としている。 授業前半（担当：近田）の講義では、原子核の様々な現象を物質の基本的概念として捉えることができるようなシラバスの項目(1)～(7)について主に解説する。また、原子力エネルギー（核分裂、核融合）の原理等についても解説する。 授業後半（担当：大矢）では、シラバスの項目(8)～(15)に基づき放射線の物質中での振る舞いや放射線による化学反応について解説する。また				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子核の組成やその安定性（近田） 2. 放射能とは（近田） 3. 原子核と核外電子との相互作用（近田） 4. 放射性壊変（近田） 5. 天然放射性核種（近田） 6. 原子核の壊変に伴う化学的効果とホットアトム化学（近田） 7. 1～6回の演習（オンデマンド授業）（近田） 8. 放射線の定義、種類、分類（大矢） 9. 放射線についての特性と物質との相互作用：アルファ線、ベータ線（大矢） 10. 放射線についての特性と物質との相互作用：ガンマ線（大矢） 11. 放射線についての特性と物質との相互作用：中性子線（大矢） 12. 放射線化学（大矢） 13. 放射線による人体影響（大矢） 14. 原子力エネルギー（大矢） 15. 8～14回の演習（オンデマンド授業）（大矢） 16. 期末試験 				
受講要件	特になし				
テキスト	放射線概論 柴田徳思編（通商産業研究社）第14版 ISBN 978-4-86045-153-0 2023年				
参考書	放射化学概論（富永健、佐野博敏著、東京大学出版会） ISBN978-4-13-062512-8 2018年				
予習・復習について	ホームページに公開している教材または講義ノート・教科書を活用して、予習・復習をすること				
成績評価の方法・基準	期末試験（70%）および講義中の演習とレポート（30%）				
オフィスアワー	理 A202 または学務情報システムの間合せから。随時対応				
担当教員からのメッセージ	放射線取扱主任者試験を受験するものは本講義を受講することが望ましい。				

授業科目名	位相数学入門 (Introduction to Topology)				
担当教員名	依岡 輝幸 (YORIOKA Teruyuki)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 C 棟 C622	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2
キーワード	開集合、位相空間、連続写像、コンパクト、連結、完備				
授業の目標	位相空間の定義を理解し、コンパクト性、連結性、距離空間の完備性についての基礎的な定理の証明を述べられ、積位相および商位相の定義を説明できるようになり、基礎的な証明を書けるようになることが目標です。				
学習内容	2 年次前期に学んだ「集合と位相」の続きです。前期に学んだ「距離空間」を抽象化・一般化した「位相空間」の基礎事項を学びます。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位相空間の定義 2. 開集合と閉集合, 内部と閉包 3. 連続写像 4. コンパクト性 5. ユークリッド空間のコンパクト集合と最大値最小値の原理 6. 連結性 7. ユークリッド空間の連結集合と中間値の定理 8. 点列コンパクト性 9. コンパクト距離空間 10. 完備距離空間 11. 距離空間の完備化 (教材配信型、10 週目に配信) 12. ベールのカテゴリー定理 13. 直積空間 14. 直積空間の連結性とコンパクト性 15. 商空間 16. 期末試験 				
受講要件	2 年次前期「集合と位相」の知識を前提に授業を行います。				
テキスト	大田春外『はじめての集合と位相』日本評論社 2012, 978-4-535-78668-4				
参考書	内田伏一『集合と位相』裳華房 1986, 9784785314019 大田春外『はじめよう位相空間』日本評論社 2000, 9784535782778 大田春外『深めよう位相空間』日本評論社 2023, 9784535788343 小山晃『位相空間論—現代数学への基礎』森北出版 2021, 9784627078611 藤田博司『「集合と位相」をなぜ学ぶのか』技術評論社 2018, 9784774196121 藤田博司『位相空間のはなし』日本評論社 2022, 9784535789333				
予習・復習について	毎回の授業で宿題を課します。宿題を利用して毎回の授業テーマを身につけてください。予習について、事前に教科書の該当箇所を読んで専門用語を頭に入れておいてください。				
成績評価の方法・基準	毎回の宿題 (30%) 期末試験 (70%) により、論理的な解答や記述という基準で評価します。				
オフィスアワー	授業開始時に指示をします。				
担当教員からのメッセージ					

授業科目名	基礎化学熱力学 (Fundamental Chemical Thermodynamics)				
担当教員名	関根 理香 (SEKINE Rika)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A 棟 3 階 302 号室	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2
キーワード	エントロピー、自由エネルギー、平衡定数、反応速度論、電池				
授業の目標	化学分野の幅広い現象を理解する基礎となる熱力学について、その基礎概念を理解する。				
学習内容	物理化学のひとつの柱である熱力学分野について高校の化学で学んだ事項を確認し、ついで、熱力学の第一・第二法則、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーなどのより高度な概念を身につける。そして、自由エネルギーと化学平衡の関係についても学ぶ。反応速度論については概説する。酸・塩基、酸化・還元、電池と電気分解については、高校で学習しているが、より定量的な扱いについて学習する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 9 章 化学反応とエネルギー(その1) 熱力学第一法則 (10 月 7 日) 9 章 化学反応とエネルギー(その2) エンタルピー (10 月 14 日) 9 章 化学反応とエネルギー(その3) 標準生成エンタルピー (10 月 21 日) 9 章 化学反応とエネルギー(その4) 結合エネルギー (10 月 28 日) 9 章 化学反応とエネルギー(その5) エントロピー (11 月 11 日) 9 章 化学反応とエネルギー(その6) 自由エネルギー (11 月 18 日) 10 章 化学平衡 平衡定数と自由エネルギー (11 月 25 日) 11 章 反応速度とエネルギー (その1) 一次反応、アレニウス式 (12 月 2 日) 14 章 電池と電気分解 (その1) 電極、電池 (12 月 9 日) 14 章 電池と電気分解 (その2) 起電力と自由エネルギー、電気分解の法則 (12 月 16 日) 12 章 酸・塩基: 酸塩基の理論、水素イオン濃度、中和反応、滴定曲線、塩の加水分解、HSAB 則 (オンデマンド) 11 章 反応速度とエネルギー (その2) 二次反応、反応機構の理論 (1 月 6 日) 10 章 化学平衡 さまざまな平衡定数 (1 月 13 日) 13 章 酸化・還元 (その1) 酸化・還元滴定 (1 月 20 日) 13 章 酸化・還元 (その2) 酸化数と電子配置 (1 月 27 日) 				
受講要件	高校までの数学 (指数・対数およびその微積分)、物理基礎・物理、化学基礎・化学の知識を用いる。大学の数学 (微積分 A,B)、物理学 I (力学)、基礎量子化学の知識も必要である。				
テキスト	ベーシック化学 竹内敬人著 化学同人 (2015 年、ISBN978-4-7598-1593-1) 定価 2400 円 (税別) (基礎量子化学で用いた教科書と同じ)				
参考書	アトキンス物理化学 (上・下) P. Atkins, J. de Paula 著、中野・上田・奥村・北河訳、東京化学同人 (2017 年、ISBN978-4-8079-0908-7, ISBN978-4-8079-0909-4) 定価 5700+5800 円 (税別) 高校の物理基礎・物理の教科書もしくは参考書など 大学基礎物理 熱化学 馬場敬之 2019 年、ISBN 978-4-86615-132-8 (本体 2000 円) の第 1 章 大学の微積分の教科書 関数電卓を購入すること (授業内で機種を紹介)。定期試験時に使用する。				
予習・復習について	予習 必要に応じて、受講要件にある知識を各自で補う 復習 授業中に課す課題を行う				
成績評価の方法・基準	毎回の課題 (レポート) (30%) 期末試験 (対面) (70%) ## 実施状況により比率は変動させる可能性があります				
オフィスアワー	質問等があれば、コメントペーパーを利用してほしい できる限り授業中で全体にフィードバックする 急ぎの場合は下記宛メール sekine.rika<at>shizuoka.ac.jp <at>を@に変更。 件名に 「質問 基礎熱化学受講生 <学籍番号> <氏名>」 を記載のこと				
担当教員からのメッセージ	わからないことがあったら、あいまいなまにせず、少し前に戻って見直してみましょう 電卓を使った数値計算に習熟しましょう。表計算ソフトも積極的に活用しましょう。 Twitter アカウントを持っている人は follow してください。follow back します。授業の感想などを積極的につぶやいてください。 (@scrseki)				

授業科目名	固体物理学Ⅱ (Solid State Physics II)				
担当教員名	清水 康弘 (SHIMIZU Yasuhiro)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A 棟 510	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2
キーワード	量子、伝導、磁性、格子振動、超伝導				
授業の目標	物質中の電子の運動を記述する手法について学ぶことで、金属と半導体の違いについて理解する。IT 社会の支える半導体技術、超伝導、磁石に関する基礎原理を学びながら、物理学の普遍的な法則を実感する。				
学習内容	なぜ金属は電気を流し、光沢があるのだろうか？磁石の源はなんだろうか？抵抗ゼロの超伝導では何が起きているのだろうか？これらの疑問について、あらゆる物理学の知識を総動員して考えると、驚くほどシンプルで、美しい物理学の概念が見えてくる。電気・熱伝導や比熱などの観測可能な物理量が、量子論によっていかにして導出できるかについて学修することで直観的な理解を得る。				
授業計画	<p>講義の前半は、これまで学修してきた力学・電磁気学・熱統計力学・量子力学について復習しながら、それらを組み合わせて、金属中の電子の運動やエレクトロニクスの基礎を学ぶ。初学者には難解な量子や統計の基本的な考え方を数式を交えながら学修し、波動性と粒子性の二重性の理解を深める。後半は、量子位相が主役となる超伝導などの物質中に凝縮した量子集団が生み出す魅力的な状態や、量子コンピュータなどの次世代の量子技術として役に立つ物質とはどのようなものかについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 固体物理学の沿革 —誕生から現代まで 2. 自由電子の運動 —古典的にオームの法則を導く 3. 量子多体系の運動 —量子・統計力学の復習 4. フェルミ理想気体 —金属の量子論の基礎 5. 周期条件 —結晶中のシュレディンガー方程式(オンデマンド型：第 4 回後に配信) 6. 波数空間 —波の「量子化」 7. 半導体 —エレクトロニクスの基礎 8. 磁場中の電子 —ベクトルポテンシャルと量子位相 9. 量子ホール効果 —究極の量子現象(オンデマンド型、第 8 回後に配信) 10. 音の量子化 —格子振動と比熱 11. 超伝導 I —巨大な波動関数の形成 12. 超伝導 II —量子位相の干渉、量子コンピュータ 13. 総集編 (オンデマンド型：第 12 回後に配信) 14. スピン —自転自由度の量子 15. 磁性 —量子スピンの基底状態(オンデマンド型：第 14 回後に配信) 16. 期末試験 (定期試験期間内に試験を行う) 				
受講要件	要件なし。				
テキスト	特に指定しない。適宜講義中に紹介する。				
参考書	<p>原子物理学：量子テクノロジーへの基本概念 D. Budker, D. F. Kimball, D. P. DeMille (著), 清水 康弘 (訳) 共立出版 (2019 年) ISBN:4320036085</p> <p>統計力学 II (新物理学シリーズ 38) 田崎 晴明 (著) 培風館 (2008 年) ISBN:4563024384</p> <p>固体物理の基礎 アシクロフト, マーミン (著), 松原 武生, 町田 一成 (訳) 吉岡書店 (1981 年) ISBN:4842701986</p> <p>固体物理学 (物理学アドバンスシリーズ) 寺崎 一郎 (著), 日本評論社 (2023 年) ISBN:4535789827</p>				
予習・復習について	予習：少なくとも 1 冊参考書を用意する。 復習：演習問題を解く。				
成績評価の方法・基準	平常点および期末試験の評点に基づく。				
オフィスアワー	講義後を中心として質問を受け付ける。適宜学務情報システムやオフィス(A510)で質問してもよい。				
担当教員からのメッセージ	これまで学んできた量子力学や統計力学が実際にどういった場面で役に立つのか実感できる講義にしたい。 本当に面白いことは、難しいことを理解した先に待ち構えていると信じて、講義に挑もう。				

授業科目名	振動と波動Ⅱ (Oscillations and Waves II)				
担当教員名	松本 正茂 (MATSUMOTO Masashige)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A棟 A501	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	水 1・2
キーワード	波動方程式・熱伝導方程式、フーリエ解析、波の反射・重ね合わせ・干渉、位相速度・群速度・波束・分散関係、シュレーディンガー方程式・量子力学				
授業の目標	フーリエ解析を利用して、波動方程式・熱伝導方程式に代表される偏微分方程式の解法を習得する。また、位相速度・群速度・干渉効果といった波動現象の基礎を学ぶ。次に、量子力学を波動の視点から概観し、ミクロな世界に現れる振動・波動現象を理解し、量子力学の学習へつなげることを目標とする。				
学習内容	熱伝導方程式・波動方程式の一般的な解法を、フーリエ解析に基づき学習する。その後、具体的な問題に適用し、波動の理解を深める。授業の最後では量子力学の話題を紹介し、量子力学を適用することで現れるミクロな世界の現象を、振動・波動の視点から学習する。				
授業計画	<p>以下の順に学ぶ。 第16回は、試験週に試験を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フーリエ解析の復習 2. 熱伝導方程式の導出 3. 熱伝導方程式の解法 (変数分離法・フーリエ級数展開・初期値問題・境界値問題) 4. 波動方程式の意味 5. 波動方程式のダランベール解 6. 波動方程式の初期値問題 (コーシー問題) 7. 波の反射 (固定端・自由端・干渉・定在波) 8. 波動方程式の解法 (フーリエ解析の応用・波の重ね合わせ) 9. 波動方程式の解法 (時間変化のない初期条件) 10. 波動方程式の解法 (時間変化のある初期条件) 11. 位相速度・うなり・群速度 12. 分散関係・波束 13. 量子力学・シュレーディンガー方程式 (オンデマンド配信) 14. 2次元の波動 (膜の振動) 15. 3次元の波動・平面波 16. 試験 (試験期間中に実施) 				
受講要件	基礎物理学Ⅰ・基礎物理学Ⅱ・力学Ⅰ・力学Ⅱ・振動と波動Ⅰ・電磁気学Ⅰを履修していることが望ましい。				
テキスト	指定されていない。				
参考書	<p>「振動・波動」講談社 (2009) 長谷川修司 (著) ISBN-10 : 4061572024 「振動・波動」裳華房 (1999) 小形正男 (著) ISBN-10 : 4785320885 「振動と波動」裳華房 (1992) 長岡洋介 (著) ISBN-10 : 4785320451 「振動と波動」東京大学出版会 (2005) 吉岡大二郎 (著) ISBN-10 : 4130626078</p>				
予習・復習について	講義ノートを事前に配布して授業までに課題を提出する必要があるため、必ず予習をおこなうこと。授業後は講義ノートを元に自分の言葉で理解するよう、必ず復習を行うこと。				
成績評価の方法・基準	試験の結果 (100%) により評価する。				
オフィスアワー	随時 (場合によってはオフィスアワーを設定することもある) 場所: 理学部 A棟 5階 501室				
担当教員からのメッセージ	フーリエ解析を用いて、波動の問題を数学的に解けるようになって欲しい。また、波動の視点からシュレーディンガーを概観し、量子力学に親しみを持ってもらえると嬉しい。				

授業科目名	代謝生化学 (Biochemistry of Metabolism)				
担当教員名	山本 歩 (YAMAMOTO Ayumu)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A 棟 311	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	水 1・2
キーワード	エネルギー代謝、異化作用、同化作用、栄養				
授業の目標	生化学の主要な代謝経路の原理・機構について説明できるようになる。				
学習内容	人は食物を摂り、消化し、栄養素を吸収します。そして生きていくのに必要なエネルギーと、体を作るのに必要な物質を、栄養素から得ています。栄養素からどのようにエネルギーを取り出し、どのようにして体に必要な物質を合成するのか？このようなエネルギーや物質の変化と流れの過程全体を「代謝」と言います。ここでは、生化学の主要な代謝経路について、エネルギーの取得・利用および様々な生体分子の合成・分解機構を学びます。				
授業計画	<p>教科書にそって、各回の内容に示す代表的な代謝経路を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝の概要 2. 代謝反応と熱力学 3. グルコースの異化代謝（解糖） 4. 発酵とペントースリン酸経路 5. グリコーゲン代謝と糖新生 6. クエン酸サイクル 7. 電子伝達と酸化的リン酸化：電子伝達の仕組み 8. 電子伝達と酸化的リン酸化：ATP 合成の仕組み 9. 光合成－明反応 10. 光合成－暗反応 11. 脂質代謝－β酸化 12. 脂質代謝－脂質の生合成 13. コレステロール代謝とタンパク質分解（オンデマンド型授業※第 12 週に配信する） 14. アミノ酸代謝 15. 代謝生化学過程の総括および要点 16. 定期試験 				
受講要件	基礎量子化学、基礎化学熱力学、有機化学 I・II、基礎生化学、生物学 I・II の履修を前提とする。				
テキスト	田宮信雄他訳、ヴォート基礎生化学 第 5 版（2017 年出版）、東京化学同人、ISBN978-4-8079-0925-4、7,600 円+税				
参考書	必要があれば、授業でそのつど紹介する。				
予習・復習について	テキストをあらかじめ読んで予習をし講義内容を把握し、講義後も復習をし要点を理解しておくこと。				
成績評価の方法・基準	特別な事情のない限り、2/3 以上の出席を評価対象とし、毎回の小テストあるいはレポート（各回の内容に関連した問いあるいはレポート課題を出題、20%）、及び期末試験（各回の内容に関連する問いを出題、80%）の総点で評価する。				
オフィスアワー	理 A311 室へ直接（メールにて予約してください）、または e-mail (yamamoto.ayumu@shizuoka.ac.jp)（いつでも対応します）にて対応				
担当教員からのメッセージ	代謝生化学は私たちの日々の生活に密接に関わる内容を扱います。また、基礎的な有機化学や物理化学の知識も活用する科目です。ぜひ、楽しみながら学びましょう。				

授業科目名	進化古生物学 (Paleobiology)				
担当教員名	佐藤 慎一 (SATO Shinichi)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理 C409	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	3年	単位数	1	曜日・時限	水 3・4
キーワード	生物、古生物、進化				
授業の目標	化石を過去の生命体として、生物学的に扱うための基礎を身につける。				
学習内容	進化古生物学の基本概念を解説し、古生物を生物学的・進化学的側面から学ぶ。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物進化の概要 2. 進化古生物学の手法 3. 化石の生物学的研究 4. 個体レベルの進化古生物学 5. 生活史の進化古生物学 6. 干潟の現生古生態学 7. 底生動物の保全古生態学 (1.5 回分のオンデマンド授業) 8. 期末試験 (またはレポート) 				
受講要件	なし				
テキスト	プリントを適宜配布。				
参考書	授業内で別途指示する。				
予習・復習について	生物環境学概論 I の内容を復習しておくこと。				
成績評価の方法・基準	期末試験 (またはレポート) により評価する。				
オフィスアワー	予めメールであいている時間を問い合わせること。				
担当教員からのメッセージ					

授業科目名	量子化学 I (Quantum Chemistry I)				
担当教員名	松本 剛昭 (MATSUMOTO Yoshiteru)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	総 512	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	水 3・4
キーワード	波動関数、シュレーディンガー方程式、箱の中の粒子、調和振動子、回転の量子化				
授業の目標	量子力学の歴史を紐解きながら、ミクロな物質の運動を記述するシュレーディンガー方程式の概念と、これを解いて得られる波動関数を理解する。また、不確定性原理やトンネル現象などの量子力学特有の考え方を習得し、ミクロな世界における物質観を身につける。				
学習内容	電子や原子核のようなミクロな粒子の運動は、量子力学によって記述される。本講義では、化学の対象である原子や分子の構造を量子力学的に理解するための基礎的方法論を学習する。始めに、波と粒子の二重性に基づいて、粒子運動がシュレーディンガー方程式で記述されることを学ぶ。次に、これを解いて得られる波動関数とエネルギー準位を様々な運動形態に応じて概観し、実在の原子分子の性質が量子力学で説明されることを学ぶ。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 量子化学 I を開講するにあたって：ガイダンス「量子化学を学ぶ理由」 2. 量子力学の起源：エネルギーの量子化 3. 量子力学の起源：波一粒子二重性 4. ミクロな系の力学：シュレーディンガー方程式 5. ミクロな系の力学：波動関数のボルンの解釈、確率密度 6. 量子論の原理：演算子、重ね合わせと期待値 7. 量子論の原理：不確定性原理 8. 並進：一次元での自由な運動、一次元の箱の中の粒子 9. 並進：二次元および多次元の箱の中の運動 10. 並進：トンネル現象（オンデマンド型授業） 11. 振動運動：調和振動 12. 振動運動：振動子の性質 13. 回転運動：二次元の回転 14. 回転運動：三次元の回転における波動関数 15. 回転運動：三次元の回転における角運動量 				
受講要件	古典力学、簡単な微積分・三角関数に関する知識				
テキスト	P. W. Atkins, J. de Paula 著, 中野元裕・上田貴洋・奥村光隆・北河康隆 訳, アトキンス 物理化学 (上) 第 10 版, 東京化学同人, 2017, 9784807909087, 定価 6,270 円 (本体 5,700 円+税)				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・真船文隆 著, 量子化学 基礎からのアプローチ, 化学同人, 2007, 9784759810844, 定価 3,960 円 (本体 3,600 円+税) ・D. A. McQuarrie, J. D. Simon 著, 千原秀昭・江口太郎・齋藤一弥 訳, 物理化学 (上) 分子論的アプローチ, 東京化学同人, 9784807905089, 定価 5,940 円 (本体 5,400 円+税) ・T. Engel, P. Reid 著, 稲葉章 訳, 物理化学 (上), 東京化学同人, 9784807908639, 定価 6,380 円 (本体 5,800 円+) 				
予習・復習について	各回の講義で取り扱う内容について、テキストの該当箇所を熟読することで予習と復習を行うこと。さらに、講義毎に与える演習問題に各自が積極的に取り組み知識と思考力の定着を図ること。				
成績評価の方法・基準	筆記試験 75%、毎回の小テスト 25%				
オフィスアワー	時間は特に定めていません。いつでも質問してください。研究室に来院しての質疑応答を希望する場合、事前に電子メールで連絡した後に日程調整をします。				
担当教員からのメッセージ	ミクロな粒子運動を記述するシュレーディンガー方程式が理解できれば、分子を形成する原子核や電子の運動の様子が手に取るようになります。そんな量子化学を自由自在に操ることができれば、様々な分野の化学を根本的に見つめることができるはずです。量子化学は議論すればするほど身につきますので、質問に来てもらうのは大歓迎です。				

授業科目名	化学反応論 (Rates and Mechanisms)				
担当教員名	関根 理香 (SEKINE Rika)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A 棟 3 階 302 号室	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 1・2
キーワード	速度式、酵素、衝突理論、遷移状態理論、データサイエンス				
授業の目標	反応速度について、マクロ及びミクロ（粒子）の視点から理解する。複雑な反応の速度を定量的に取り扱うことができるようになる。分子の運動と反応速度を結び付ける手法について説明できるようになる。				
学習内容	<p>始めに反応速度の定義を学ぶ。反応速度は微分方程式で表される。これらの速度式の解を使うと、反応の開始以後任意の時刻における物質の濃度を予測することができる。素反応の概念と、律速段階や反応中間体に関する定常状態近似について学ぶ。(20 章)</p> <p>次に複雑な反応機構を取り扱う。連鎖反応が爆発的になる理由にも立ち入る。均一触媒反応、光化学をとりあげる。(20 章)</p> <p>最後に反応の分子動力学について学ぶ。大きな柱は「衝突理論」「遷移状態理論」「分子衝突の動力学」である。(21 章)</p> <p>衝突理論を学ぶ準備として、気体運動論の復習を行う。(1 章)</p> <p>遷移状態理論を学ぶ準備として、分子分配関数とそれを用いた平衡定数の表し方について学ぶ。(15 章)</p> <p>衝突理論は、気相における簡単な分子の間の反応にしか使えない。</p> <p>遷移状態理論によれば、反応原系の分子は錯合体を形成する。この錯合体はそのエネルギー準位の占有状態の見地から論じることができる。遷移状態理論によれば、反応速度について熱力学的な見方をする道が開け、速度定数を熱力学的なパラメーターによって表すことができる。</p> <p>最も洗練された研究方法は、ポテンシャルエネルギー面とその面上での分子運動を使う方法である。(21 章)</p> <p>固体表面の吸着過程と不均一触媒についても講義する。(22 章)</p> <p>課題の実施にあたり表計算ソフトを用いることを推奨する。(近似曲線、最小二乗法、複雑な関数の挙動を調べる、その他)</p>				
授業計画	<p>第 12 回のオンデマンド授業は動画配信と課題提出で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学反応速度 (20 章) 20A 化学反応の速度 (10 月 3 日) 2. 20B 積分速度形式 (10 月 10 日) 3. 20C 平衡に向かう反応 (10 月 17 日) 4. 20D アレニウスの式 (10 月 24 日) 5. 20E 反応機構 (11 月 7 日) 6. 20F 反応機構の例 (11 月 14 日) 7. 20G 光化学 (11 月 21 日) 8. 20H 酵素 (11 月 28 日) 9. 気体の性質 (1 章) 1B 気体の運動論モデル (12 月 5 日) 10. 化学反応動力学 (21 章) 21A 衝突理論 (12 月 12 日) 11. 21C 遷移状態理論 (12 月 19 日) 12. 21D 分子衝突の動力学 (オンデマンド授業) 13. 統計熱力学 (15 章) 15B 分子分配関数 (1 月 9 日) 14. 15F 熱力学関数の導出 (1 月 16 日) 15. 固体表面における諸課程 (22 章) 22B 吸着と脱着/22C 不均一系触媒作用 (1 月 23 日) 				
受講要件	以下の科目を履修していることを前提に授業を行う。基礎量子化学、基礎化学熱力学、物理学 I,III、量子化学 I,II、化学熱力学 I,II。				
テキスト	アトキンス物理化学 (上・下) P. Atkins, J. de Paula 著、中野・上田・奥村・北河訳、東京化学同人 (2017 年 ISBN978-4-8079-0908-7, ISBN978-4-8079-0909-4) 定価 5700+5800 円 (税別) 他の物理化学系の講義と同じ教科書を用いる。 課題の多くでエクセルや Mathematica を用いる。				
参考書	アトキンス 物理化学 問題の解き方 (学生版) 第 10 版 英語版 2017 年 ISBN 9784807909100、6000 円+税 反応速度論 真船文隆・廣川淳 著 (裳華房) 2017 年 ISBN 978-7853-3420-8 2600 円+税 関数電卓を用意すること。定期試験の時に使います。				
予習・復習について	予習 力学 (物理学 D)、量子化学、熱化学を充分学習しておくこと。 復習 課題を必ず行う。				

成績評価の方法・基準	毎回の課題（レポート）（30%） 期末試験（対面）（70%） ##実施状況により比率は変動させる可能性があります。
オフィスアワー	質問等があれば、コメントペーパーを利用してほしい。 できる限り授業資料等で全体にフィードバックする。 急ぎの場合は下記宛メール sekine.rika<at>shizuoka.ac.jp <at>を@に変更 件名に 「質問 化学反応論受講生 <学籍番号> <氏名>」を記載のこと。
担当教員からのメッセージ	化学反応論は物理化学分野の総まとめです。しっかり復習しましょう。

授業科目名	地球科学入門Ⅳ (Introduction to Geosciences Ⅳ)				
担当教員名	木村 浩之 (KIMURA HIROYUKI)		所属等	グリーン科学技術研究所	
			研究室	共通教育C棟3階 C313室	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分 必、選必
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	金 7・8
キーワード	海洋、海洋生物、大気、気象、気候変動、温暖化				
授業の目標	地球科学の基礎知識を習得する。特に、海洋、海洋生物、大気、気象、温暖化、気候変動の各分野の専門用語を英語と日本語に対応させ、その内容を理解する。				
学習内容	英語のテキストを使いながら、海洋、海洋生物、大気、気象、温暖化、気候変動に関する地球科学の基礎知識を学習する。				
授業計画	<p>テキスト"Earth Science, 15th edition"の以下の Chapter を講義する。</p> <p>第1回 Chapter 13. The Ocean Floor 第2回 Chapter 13. The Ocean Floor (続き) 第3回 Chapter 14. Ocean Water and Ocean Life 第4回 Chapter 14. Ocean Water and Ocean Life (続き) 第5回 Chapter 15. The Dynamic Ocean 第6回 Chapter 15. The Dynamic Ocean (続き) 第7回 海洋分野のまとめ、試験 第8回 Chapter 16. The Atmosphere: Composition, Structure, and Temperature 第9回 Chapter 16. The Atmosphere: Composition, Structure, and Temperature (続き) 第10回 Chapter 16. The Atmosphere: Composition, Structure, and Temperature (続き) 第11回 Chapter 17. Moisture, Clouds, and Precipitation 第12回 Chapter 17. Moisture, Clouds, and Precipitation (続き) 第13回 Chapter 17. Moisture, Clouds, and Precipitation (続き) 第14回 Chapter 18. Air Pressure and Wind 第15回 Chapter 18. Air Pressure and Wind (続き) 期末試験</p>				
受講要件	なし				
テキスト	Tarbuck, E.J., Lutgens, F.K., Tasa, D., Earth Science, Global Edition. 14th Edition. (2015) PEARSON, ISBN-13: 9781292061313、Kindle 版				
参考書	なし				
予習・復習について	英語辞書を使ってテキストを和訳し、十分に予習を行うこと。				
成績評価の方法・基準	コメントカードの内容と2回の試験の結果により成績を評価する。				
オフィスアワー	講義終了後。				
担当教員からのメッセージ	本講義で使用する英語の教科書は、地球科学の基礎知識を身につける上で有用です。事前に教科書を読み、十分に予習して下さい。				

授業科目名	雑草学 (Weed Science)				
担当教員名	稲垣 栄洋 (INAGAKI Hidehiro)		所属等	大学院農学領域	
			研究室	藤枝フィールド	
分担教員名					
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	水3・4
キーワード	雑草、生理生態、管理技術				
授業の目標	雑草とはどのような植物であるのか、また雑草を管理する上で重要な雑草の生理生態に関する基礎的知識を習得することを課題とする。				
学習内容	農業生産や緑地生産における雑草防除を行う上で重要な、雑草の生理生態と管理技術について講義する。				
授業計画	第1回：雑草学序論 第2回：雑草の概念と起源 第3回：雑草の種類と分類 第4回：雑草の種子繁殖特性 第5回：雑草の栄養繁殖特性 第6回：雑草の種子伝播 第7回：雑草の変異 第8回：雑草害の種類 第9回：雑草の防除法の種類 第10回：除草剤 第11回：水田の雑草管理 第12回：畑地の雑草管理 第13回：非農耕地の雑草管理 第14回：雑草の総合防除と生態系管理 第15回：まとめ（オンデマンド） 定期試験				
受講要件					
テキスト					
参考書	雑草学総論（養賢堂）				
予習・復習について	復習：授業内容について理解を深める。				
成績評価の方法・基準	筆記試験 50%、毎回のレポート 50%で評価する。				
オフィスアワー	メールで連絡をしてください。				
担当教員からのメッセージ					

授業科目名	臨床心理学概論 (Fundamental Concepts in Clinical Psychology)				
担当教員名	江口 昌克 (EGUCHI Masakatsu)		所属等	学術院グローバル共創科学領域	
			研究室	人文 B 棟 504 室	
分担教員名					
クラス	グローバル	学期	後期		必修選択区分 選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2
キーワード	臨床心理学、対人援助、心の病理、アセスメント、心理療法				
授業の目標	臨床心理学の知識と探究方法の学びを通じて、さまざまな条件における多様な人間の心のあり方と対人援助について深く理解し、併せて共生への志向を高める。				
学習内容	臨床心理学の学習の基盤となる知識を得るために、臨床心理学とはどのような学問領域であるか、臨床心理学の対象と領域、臨床心理学の基礎理論、心理アセスメント、心理療法について論じる。また、臨床心理学の全体像を理解するために、心の病理と対人援助の基本的な知識について概略を論じる。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床心理学とは何か 2. 臨床心理学の基礎理論 3. 援助の対象と領域 (1) : 発達臨床 4. 援助の対象と領域 (2) : 疾患と障害 5. 援助の対象と領域 (3) : 家族・コミュニティにおける諸問題 6. アセスメントの理論と技法 (1) : 面接法・観察法 7. アセスメントの理論と技法 (2) : 性格検査 8. アセスメントの理論と技法 (3) : 知能検査・発達検査・認知機能検査 9. 援助の方法と過程 (1) : 力動論的アプローチ 10. 援助の方法と過程 (2) : 認知行動論的アプローチ 11. 援助の方法と過程 (3) : 人間論的アプローチ 12. 援助の方法と過程 (4) : システム論的アプローチ 13. 臨床心理学の研究 (オンデマンド) 14. 社会的専門職としての公認心理師 15. 臨床心理学の倫理 				
受講要件	全学教育科目「心理学」を受講済みであることが望ましい。				
テキスト	特に指定しない。				
参考書	長谷川寿一ら (著) 『はじめて出会う心理学 第3 版』 有斐閣 2020 下山晴彦 (編) 『よくわかる臨床心理学 (改訂新版)』 ミネルヴァ書房 2009				
予習・復習について	授業テーマに沿って各自が十分な予習・復習を行うこと。				
成績評価の方法・基準	成績評価は以下のように行う。 ①授業時の小レポート (30%) ②定期試験の成績 (70%)				
オフィスアワー	火曜日 3・4 限 (要予約)				
担当教員からのメッセージ	臨床心理学は、「心理臨床家としての実践性」に加え「心理学研究者としての科学性」を支える重要な参照枠となります。幅広い領域における心理社会的問題の理解と支援の在り方について深い関心を持って授業に臨んでください。				

授業科目名	地球環境問題と法 (Global Environmental Law)				
担当教員名	板倉 美奈子 (ITAKURA Minako)		所属等	学術院グローバル共創科学領域	
			研究室	人文社会科学部A棟 533	
分担教員名					
クラス	グローバル	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4
キーワード	カーボンニュートラル・脱炭素、バイオエコノミー／ネイチャーポジティブ、GX (グリーン・トランスフォーメーション)、気候温暖化枠組条約、パリ協定、地球温暖化対策推進法・気候変動適応法、生物多様性条約、カルタヘナ議定書・名古屋議定書、カルタヘナ法・ABS 指針、環境と経済				
授業の目標	地球環境問題、具体的には環境や自然・遺伝資源の保全と持続可能な利用に関わる国際条約—とくに気候温暖化枠組条約・同京都議定書・パリ協定、生物多様性条約・同カルタヘナ議定書・同名古屋議定書—および関連する国内法令の概要、背景、現状と課題について理解し、SDGs の達成、気候危機への対応、カーボンニュートラルの達成といった喫緊のグローバルな課題に向き合えるような知見を得ること。				
学習内容	1. 国際環境法の成立過程、概要、基本原則を概観する。 2. 気候温暖化枠組条約、同パリ協定や生物多様性条約、同カルタヘナ議定書、同名古屋議定書や関連する国内法令等の概要、歴史的経緯、論点・課題を概観する。 3. ESG 投資など経済と環境との調和・両立に関わるこれまでの取組みや論点・課題を概観する。				
授業計画	1. イントロダクション—条約・国内法の形成過程 2. 国際環境法の成立と展開 3. 地球環境問題と主要な環境条約 4. 環境法の基本原則 5. 環境損害に対する法的責任・1—国際法上の責任 6. 環境損害に対する法的責任・2—国内法上の責任 7. 気候温暖化枠組条約・1—条約の概要・京都議定書・地球温暖化対策推進法 8. 気候温暖化枠組条約・2—パリ協定・気候変動適応法 9. 気候温暖化枠組条約・3—国内外におけるカーボンニュートラル達成に向けた取組み 10. 生物多様性条約・1—条約の概要・生物多様性基本法 11. 生物多様性条約・2—カルタヘナ議定書・カルタヘナ法 12. 生物多様性条約・3—名古屋議定書・国際食料遺伝資源条約・ABS 指針 *オンデマンド授業回 13. 経済と環境の両立・1—「環境と貿易」問題、「持続可能な発展」、SDGs 14. 経済と環境の両立・2—グローバル・コンパクト、ESG 投資 *オンデマンド授業回 15. まとめ—GX に向けての法的課題				
受講要件	特になし				
テキスト	指定しない				
参考書	西村智朗・山田健吾『ハイブリッド環境法』(嵯峨野書院、2022年) *詳細は初回授業等で案内します。				
予習・復習について	予習は不要。レジュメは原則として授業前に学情を通じて配布します。 授業後にレジュメその他の配布資料や参考書などを参照しながらの復習を基本とします。				
成績評価の方法・基準	授業期間中に行う課題等 (40%) と期末試験 (60%) の採点結果により総合的に評価する。				
オフィスアワー	金曜日 5・6 時限 (12:45-14:15) *事前にメール等で問い合わせるようにしてください。				
担当教員からのメッセージ					

授業科目名	心理と行動B (Psychology and Behavior B)				
担当教員名	高橋 晃 (TAKAHASHI Akira)		所属等	大学院情報学領域	
			研究室	J-2523	
分担教員名					
クラス	工1	学期	後期		必修選択区分 選必、選択
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	火3・4
キーワード	感覚・知覚、記憶、学習、思考、心理検査、脳、人工知能				
授業の目標	人間の“こころ”をさまざまな側面からとらえ、その多様な情報処理特性を把握することができるようになる。				
学習内容	“こころ”を扱う古典的な心理学のテーマに、脳や人工知能などの認知科学的トピックを絡ませて学習することで、現代的な「人間への理解」ができるようになる。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入 講義の概要・課題等 人間とは 2. 感覚・知覚(1) 視覚以外の感覚・知覚の性質 3. 感覚・知覚(2) 視知覚の性質 4. 学習(1) 条件付け 5. 学習(2) 洞察・社会的学習 6. 記憶(1) 記憶の性質 7. 記憶(2) 記憶の分類と病理 8. 思考とエラー(1) 思考の性質 9. 思考とエラー(2) 思考の階層とヒューマンエラー 10. 心をはかる(1) 知能検査 11. 心をはかる(2) 性格検査 12. 脳と心 脳の構造とその機能 (オンデマンド) 13. 人間らしさと心と人工知能(1) 人間/動物/AI の性質と区別 (外見・知能) 14. 人間らしさと心と人工知能(2) 人間/動物/AI の性質と区別 (会話・感情 他) 15. 人間らしさと心と人工知能(3) Re:人間とは 全体の復習と体験実験の説明 16. 第16回は講義を行わない ただし、時間内・外に行われる「心理学実験」を実際に体験することで理解を深めることも講義に含まれる 				
受講要件	人間とその心に興味があること。				
テキスト	全体は特に指定しない。各トピックで参考図書を示す場合がある。				
参考書	心理学全体の概要書として以下を示す。 「心理学 第5版補訂版」東京大学出版会(2020) ISBN-13 : 978-4130121170				
予習・復習について	講義テーマについて各自予習しておくことが望ましい。また講義終了後の復習コメントも必須である。				
成績評価の方法・基準	毎回の課題コメントと最終課題レポートの成績で決定する。				
オフィスアワー	学務情報システムの「教員連絡」機能から連絡をいただければ随時対応します。				
担当教員からのメッセージ	学び、考え、深めよう。				

授業科目名	魅せる化学～環境から経済まで (Chemistry seductive · beyond ecology and economy)				
担当教員名	田中 康隆 (TANAKA Yasutaka)		所属等	大学院工学領域	
			研究室	C311	
分担教員名	立元 雄治、昆野 昭則、奥谷 昌之、鳴海 哲夫、杉田 篤史				
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4
キーワード	肥料、太陽光、公害、地球環境、医療と創薬、新交通システム、分解、リサイクル、エネルギー、経済と化学				
授業の目標	「化学」は基礎学問から応用まで、あらゆる場面で登場する稀有な領域である。太陽光発電、肥料、医薬品、電池、超伝導、食品加工に至るまで、化学の領域に含まれる。人間は自然界の化学物質と関わり、また化学物質を作り出して暮らしを豊かにしてきた。一方、化学物質は問題を提起しやすくなる場合もある。身近な天然と人工の化学物質、化学物質が引き起こす問題、さらにはその問題を解決するための技術および今後の展望について考え理解を深める。世界経済は本当に環境に優しい方向にすすんでいるのかも考える。				
学習内容	ここでは「魅せる = 見せる」とし、動画を活用して多面的な化学の世界を理解する。化学物質と人間との関わりを軸に、化学の様々な視点からの講義を通じて基礎から環境・エネルギー等、人類の抱える諸問題に至るまでの幅広い内容を学習する。また化学しくみや功罪を学びながら「医療と創薬」、「光と化学」、「地球環境と化学物質」、「経済と化学」を中心に学習する。				
授業計画	<p>6名の教員で担当する。詳細は各回の項を参照。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容紹介およびSDG's とカーボンニュートラル。日本以外では誰も知らないSDG's。科学的裏付けのないカーボンニュートラル。田中康隆担当 2. エネルギー有効利用のためのエネルギー消費の評価 田中康隆担当 3. 経済と化学_電気自動車はエコでエコか? 田中康隆担当 4. 化学物質の生産と処理技術(1) 立元雄治担当 5. 化学物質の生産と処理技術(2) 立元雄治担当 6. 毒と薬、人工と天然、材料とゴミといったキーワードから化学物質の二面性について考える。昆野昭則担当 7. グリーンケミストリー(環境に配慮した化学合成およびプロセス)について紹介する。昆野昭則担当 8. 創薬化学とケミカルバイオロジー(1) 鳴海哲夫担当 9. 創薬化学とケミカルバイオロジー(2) 鳴海哲夫担当 10. エネルギー材料 1: 新エネルギー源としての期待の高い太陽光発電について、その開発動向について解説する。奥谷昌之担当 11. エネルギー材料 2: リニアモーターカーに代表される超伝導材料について、実用化と課題について解説する。奥谷昌之担当 12. 「光と色の化学」。そのむかし光の速度はどのようにして測定したのか。杉田篤史担当 13. 教会のステンドグラスの赤の色はどのようにして作り出していたのか、光と色と化学の関係を解説する。杉田篤史担当 14. 講義履修者と教員のディスカッション 15. 同時双方向型授業 ※試験期間中に実施 				
受講要件	特になし				
テキスト	テキストは用いず、必要に応じて資料を配付する。				
参考書	「まんが化学に強くなる」(講談社: BlueBacks シリーズ)、「化学のしくみ」(ナツメ社)等であるが、特に購入の必要はない。				
予習・復習について	特に予習復習は必要ないが、日頃から化学物質・環境・エネルギー問題等への関心をもって、授業に臨んでもらいたい。				
成績評価の方法・基準	8割以上の出席で評価の対象とする。授業への取り組み状況とレポートにより評価する。受講態度が悪い場合は、評価の対象としない。				
オフィスアワー	質問は随時受け付けますが、応じられないときもあることを承知おきください。				
担当教員からのメッセージ	ロシアのウクライナ侵略、中東地域での武力行使、福島原子力事故、新型コロナウイルスの蔓延等、化学、環境、エネルギーの関係が注目を集めている。化学的なものが環境を壊したならば、化学の力で解決されるべきである。電子物質科学科および化学バイオ工学科の教員が「化学」に関するエネルギー、環境、人間生活と化学の関わり等、ホットな話題を平易に、特には画像を使って解説する。オムニバス形式の講義で、内容に一部重複もあるが、同じ事柄でも話し手(教員)ごとに異なる見解があることも含めて化学物質と人間のかかわりについて考えてもらいたい。特に教員によっては講義資料を置いたホームページを紹介する場合がある。必要に応じてダウンロードしてください。				

授業科目名	S F の世界 (The World of SF)				
担当教員名	高橋 晃 (TAKAHASHI Akira)		所属等	大学院情報学領域	
			研究室	J-2523	
分担教員名	原田 伸一郎				
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	金 5・6
キーワード	フィクション、科学技術、文学、アート、社会&政治、エンタテインメント、未来予測、アイデア、リアリティ、創作				
授業の目標	21世紀初頭における「SF」について、その歴史と現状を把握できるようになる。また、受講生がSF的な「広範な視野」を持てるようになり、SF的な「柔軟な思考」を鍛えることができるようになる				
学習内容	現代の「SF」は「サイエンスフィクション」の域を超え、様々な意味合いを含み持つようになった。フィクションであり、娯楽でありながら、また一方で人類自身に対する真摯な考察をも含む、複合的な領域として存在する現在の「SF」について、その現状を学ぶ。さらに、受講生が、SFの根底に流れる「SF的な視野」「SF的な思考法」を持ち、活用できるようになることも期待する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. SFの世界 「SF新大陸ツアー」の解説 “SFの源”地図 2. SFとメディア(1) 様々なメディアにおけるSF 小説・文芸雑誌(“ライトノベル”含む) 映画・特撮 3. SFとメディア(2) 様々なメディアにおけるSF 絵画・マンガ・アニメーション 4. SFと社会 SFにおいて描かれる社会 ディストピア(原田) 政治制度 5. SFと時間 時間を巡る考察 過去と未来 架空戦記 6. SFとコミュニケーション ファーストコンタクト 7. SFと科学 近いようで遠い科学とSF 未来予測 疑似科学 8. SFとリアリティ SFをSF足らしめている要素の一つとしてのリアリティについて 架空論文 9. SFと世界 各地域におけるSFの流れ 10. SFと近接領域 SFとその周りの作品との関係 ファンタジー・冒険小説・ミステリー・ホラー・伝奇 11. SFとアイデア SF的な思考とSFを生み出す思考 12. SFとゲーム 親和性の高いゲームとSFの関係(冬期休暇中のオンデマンド講義予定) 13. SFとところ SFと人間のところと“超能力” 14. SFと人間 SFは人間をどうとらえてきたのか AIを通しての人間観 15. Re:SFの世界 あらためて「SFの世界」について 				
受講要件	「SF」に興味がある人				
テキスト	特に指定しない。あらゆるSF作品がテキストである。				
参考書	<p>「SF入門」「SF解説」と名の付く書籍類</p> <p>例：谷岡一郎「SFはこれを読め!」(ちくまプリマー新書) ISBN-13: 978-4480687838 定価 836円</p> <p>池澤春菜「現代SF小説ガイドブック 可能性の文学」(ele-king books) ISBN-13 : 978-4910511375 定価 1980円</p>				
予習・復習について	SFに関わる様々な作品を各自が視聴・体験しておくことが望ましい				
成績評価の方法・基準	各回における「コメント課題」等と「最終レポート」を併せて総合的に評価する(各50%)				
オフィスアワー	質問・疑問等は随時学務情報システムの「教員問合わせ」機能から連絡をお願いします。				
担当教員からのメッセージ	SFの世界は広大です。しばらくの間、共に旅をしていきましょう。				

授業科目名	大規模自然災害の科学 (Science of large-scale natural disasters)				
担当教員名	北村 晃寿 (KITAMURA Akihisa)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	共通教育 C 棟 311	
分担教員名	岩田 孝仁、小山 眞人				
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	金 5・6
キーワード	大規模自然災害、南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害、静岡県				
授業の目標	大規模自然災害、特に静岡県で発生確率の高い南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害などについての科学的見方を修得する。				
学習内容	①大規模自然災害をもたらす原因として、プレートテクトニクスについて理解する。 ②大規模自然災害の発生予測の理論とそれを導く履歴の調査方法を理解する。 ③静岡県で発生確率の高い大規模自然災害の実態を理解する。				
授業計画	第1回：プレートテクトニクス（北村） 第2回：2011年3月11日東北地方太平洋地震の概要（北村） 第3回：東北地方太平洋地震・貞観地震による津波堆積物（北村） 第4回：静岡県の地質（北村） 第5回：静岡県における海溝型地震（北村） 第6回：静岡県の地殻変動・地震（北村） 第7回：静岡県とその周辺の直下型地震と断層運動（北村） 第8回：静岡県の南海トラフ巨大地震・津波の履歴(その1)（北村） 第9回：静岡県の南海トラフ巨大地震・津波の履歴(その2)（北村） 第10回：東海地震説から東北沖太平洋地震そして現在（岩田） 第11回：南海トラフの巨大地震への備え（岩田）オンデマンド型授業で第11回を冬期休業期間に配信する予定 第12回：富士山と伊豆東部火山群の噴火史と防災（小山） 第13回：静岡県における津波災害と土砂災害（北村） 第14回：気候変動と温暖化現象（北村） 第15回：海水準変動と都市地盤（北村）				
受講要件	とくになし。				
テキスト	静岡の大規模自然災害の科学（岩田孝仁・小山真人・北村晃寿編、静岡新聞社、発売日 2020年、ISBN：978-4783805557）				
参考書	なし。				
予習・復習について	配信する PDF 資料で予習・復習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験により評価する。ただし、授業中にホームページ閲覧、動画・音楽視聴・配信、ゲーム、通信・通話などを行っていた場合には、成績評価に影響することがあります。授業中に私語を行っていたり、断りもなく出入りした場合にも、成績評価に影響することがあります。				
オフィスアワー	相談内容・日時に関しては、事前にメールで連絡下さい（アドレス：kitamura.akhisa@shizuoka.ac.jp）				
担当教員からのメッセージ	大規模自然災害ならびにその科学的な研究手法を学ぶことに関心のある受講生を歓迎します。時間厳守。				

受講連絡票

<p>静岡大学市民開放授業受講連絡票</p> <p>氏名 ()</p> <p>受講科目 ()</p> <p>●市民開放授業受講生は、Microsoft365を利用できません。受講連絡には、学務情報システムをご利用願います。</p> <p>●本票は、個人情報が含まれておりますので取扱に注意してください。</p>	<p>静岡大学市民開放授業受講連絡票</p> <p>氏名 ()</p> <p>受講科目 ()</p> <p>●市民開放授業受講生は、Microsoft365を利用できません。受講連絡には、学務情報システムをご利用願います。</p> <p>●本票は、個人情報が含まれておりますので取扱に注意してください。</p>
<p>静岡大学市民開放授業受講連絡票</p> <p>氏名 ()</p> <p>受講科目 ()</p> <p>●市民開放授業受講生は、Microsoft365を利用できません。受講連絡には、学務情報システムをご利用願います。</p> <p>●本票は、個人情報が含まれておりますので取扱に注意してください。</p>	<p>静岡大学市民開放授業受講連絡票</p> <p>氏名 ()</p> <p>受講科目 ()</p> <p>●市民開放授業受講生は、Microsoft365を利用できません。受講連絡には、学務情報システムをご利用願います。</p> <p>●本票は、個人情報が含まれておりますので取扱に注意してください。</p>
<p>静岡大学市民開放授業受講連絡票</p> <p>氏名 ()</p> <p>受講科目 ()</p> <p>●市民開放授業受講生は、Microsoft365を利用できません。受講連絡には、学務情報システムをご利用願います。</p> <p>●本票は、個人情報が含まれておりますので取扱に注意してください。</p>	<p>静岡大学市民開放授業受講連絡票</p> <p>氏名 ()</p> <p>受講科目 ()</p> <p>●市民開放授業受講生は、Microsoft365を利用できません。受講連絡には、学務情報システムをご利用願います。</p> <p>●本票は、個人情報が含まれておりますので取扱に注意してください。</p>

キリトリ線

2025年度（後学期）静岡大学市民開放授業 受講申込書

国立大学法人 静岡大学長 殿

※裏面の注意事項を必ず確認し、身分証明の写しを貼付すること →

住 所	〒 -	
ふりがな		性別（どちらかに○）
氏名		男・女
生年月日	(西暦) 年 月 日 (歳)	
電 話	(携帯)	(自宅)
E - m a i l	(フリガナ)	
メールアドレスをお持ちの方は必ずご記入ください。未記入の場合はメールが届きません。	(メールアドレス)	
	※英数字等区別しにくいものは丁寧に書きください（例：「0」（ゼロ）と「o」（オー）、「1」（イチ）と「l」（エル）など）。	
	※休講等の連絡をメールで送信しますが、他に学生向け情報も配信されますので、あらかじめご了承ください。	
	※携帯メールの方は大学からのメールが受信できるように設定をしてください（発信アドレス：gakujo@sb.shizuoka.ac.jp）	
職 業	会社員・自営業・無職・主婦・学生・その他（ ）	
最 終 受 講 歴	2025年度前学期 ・ それ以前 ・ 初めて （あてはまるもの1つに○）	
静大eduroam ゲスト用アカウント発行	要 ・ 不要	
	※キャンパス内での無線LAN利用には静大eduroamゲスト用アカウントによる接続設定が必要です。無線LANの利用を希望する方は 要 に○をおつけください。	

※承認印をもらう前に、市民開放授業科目一覧に掲載されている科目番号と受講科目を正確に記入してください。

【授業担当の先生へ】市民開放授業受講生は、Microsoft365を利用できません。授業連絡には、学務情報システムをご利用願います。

科目番号	受講科目	担当教員氏名	授業曜日・時限	担当教員承認日	担当教員承認印 (またはサイン)
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	

上記授業科目を受講したいので、裏面の注意事項に同意のうえで、申し込みます。

以下大学側記入欄

受講の登録受付日	講習料の納付日	受講証の交付	
		(受講証番号)	(交付日)
		(学籍番号)	

(注) 受講生の個人情報に関しては、細心の注意を払い、市民開放授業の申込みの確認、市民開放授業に関する連絡、今後の大学の市民向け事業のご案内に利用させていただきます。

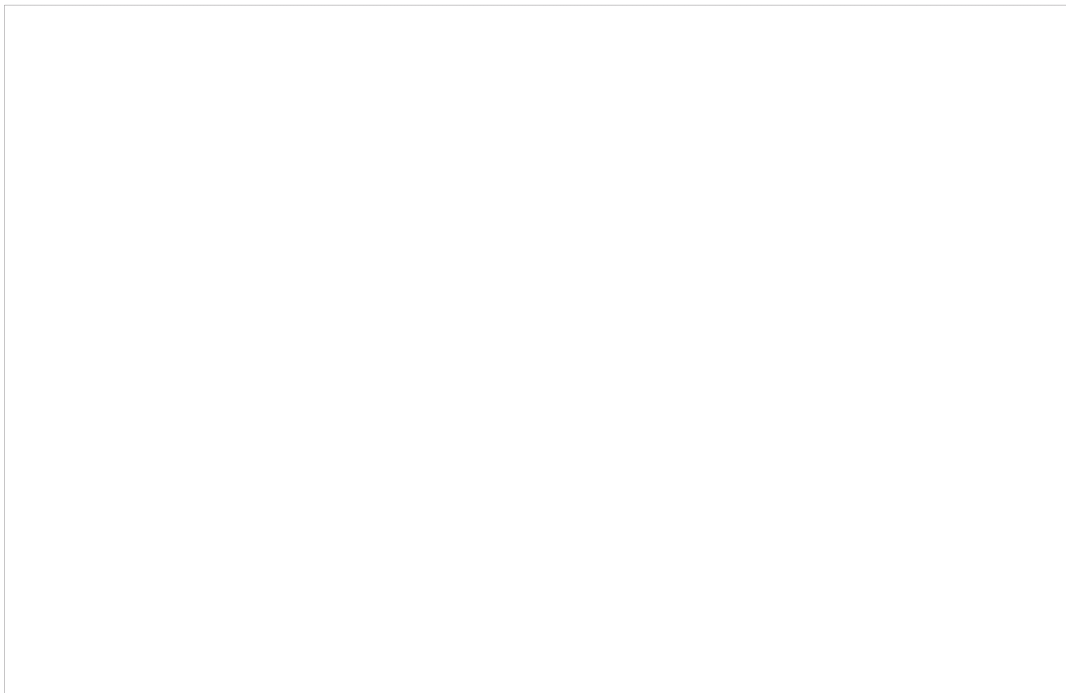
注意事項

市民開放授業の受講生は、受講にあたり、以下のことを遵守してください。
また、このことにご同意いただける場合のみ、受講をお申し込みください。

- 一、 受講にあたり、静岡大学が行う教育、研究活動、及び事務運営に支障が及ぶことがないようにするとともに、教職員の指示に従う。
- 一、 前項に反し、受講生としてふさわしくない言動及び静岡大学の秩序を乱す行為があった場合は、受講を停止されても甘受する。その場合、納入した講習料の返還を要求しない。
- 一、 静岡大学の施設、設備等を故意又は不注意により破損したときは、その損害を賠償する。

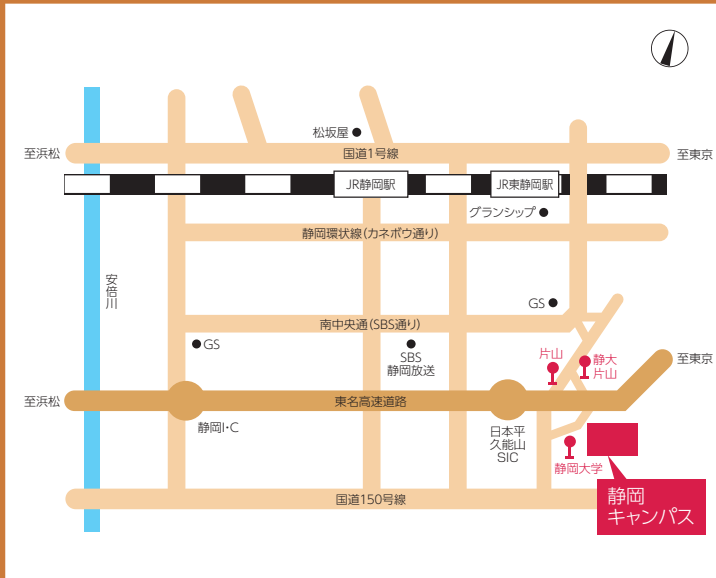
以上

身分証明貼付欄（氏名及び現住所が確認できるものであること）



■静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・グローバル共創科学部・地域創造学環
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

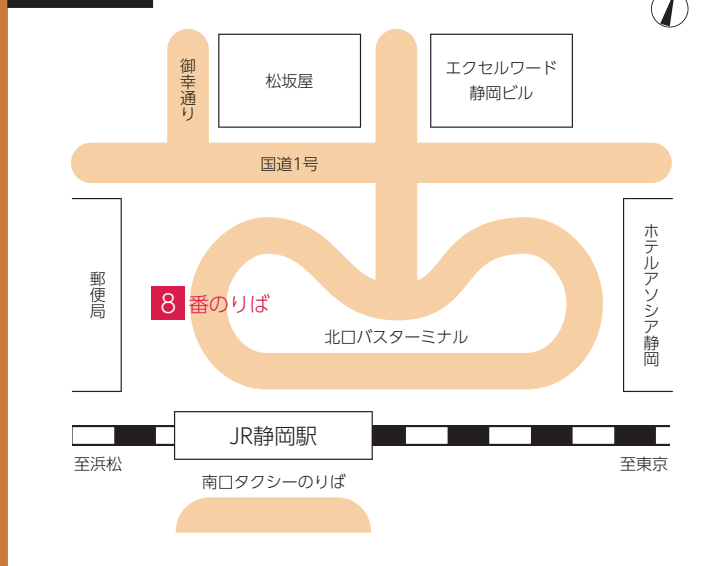


■浜松キャンパス

情報学部・工学部
〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北 3-5-1

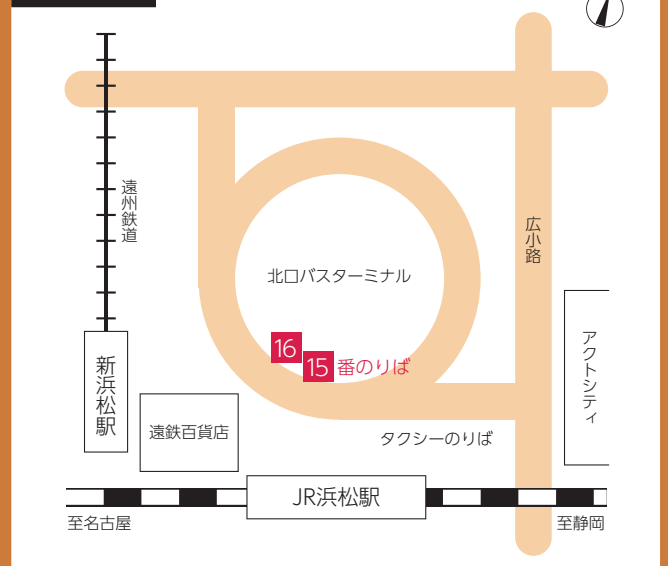


バス停案内図



1. JR静岡駅北口よりつじャストラインバス8番乗り場から、「静岡大学」または「東大谷」、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きに乗車し、「静岡大学」または「静大片山」バス停下車(所要時間約25分、1時間に5~7本運行)。*静岡駅午後発の「東大谷」行きバスは「静岡大学」バス停を経由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」と「静大片山」バス停は位置が異なりますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。

バス停案内図



1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停下車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。

静岡大学地域創造育センター Education Center for Regional Development

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL: 054-238-4817 [平日9:30~12:30、13:30~16:00(10/1~10/15のみ 9:30~12:30、13:30~16:30)]

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp <https://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>